



Axis装着式ソリューション

Axis装着式ソリューション

AXIS W800 System Controller

AXIS TW1200 Mini Bullet Sensor

ユーザーマニュアル

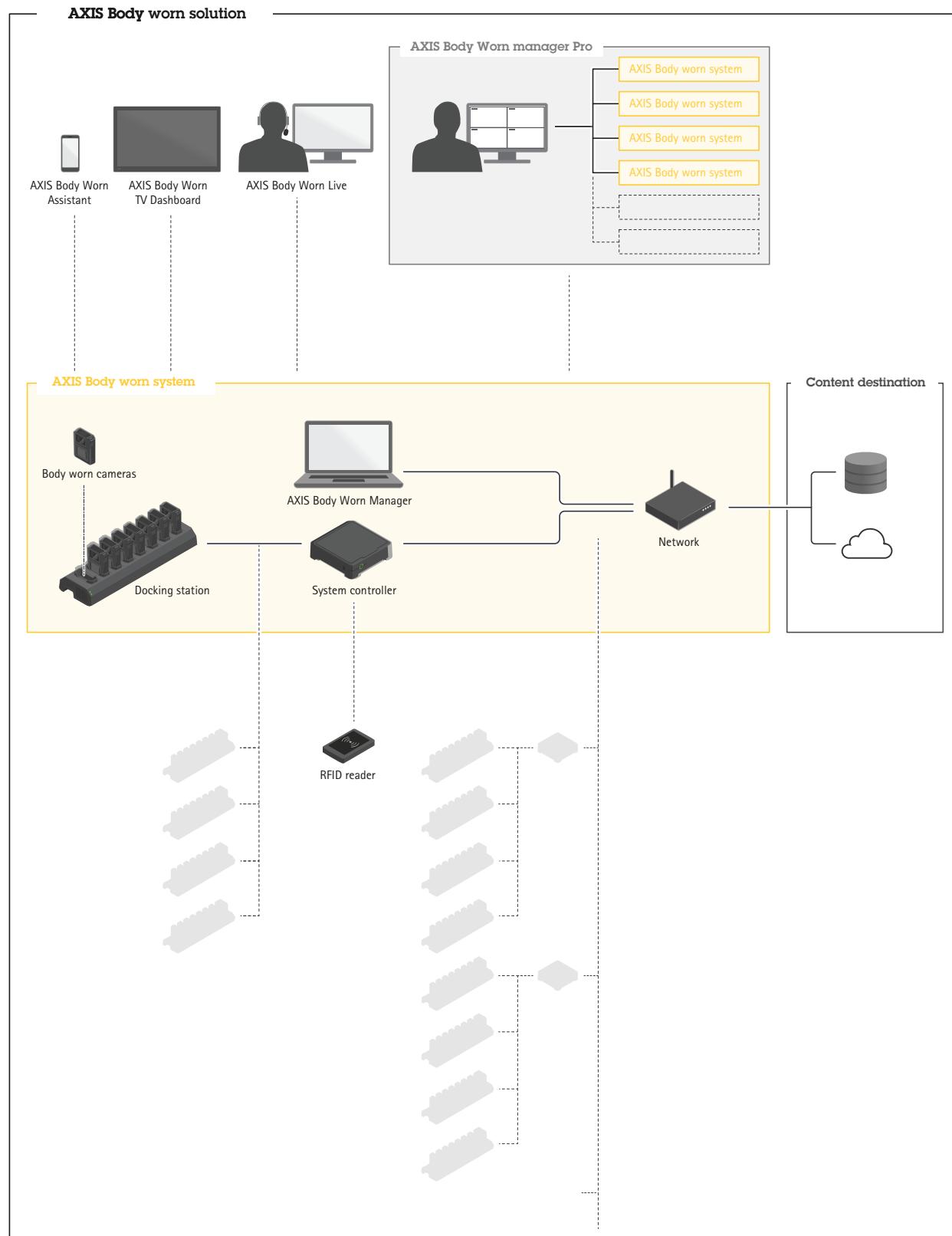
目次

これはAxis装着式ソリューションです。	5
最新のリリースの新機能	6
使用に当たって	7
システムの設置	7
初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスする	7
安全なパスワード	9
評価モード	9
コンテンツ送信先	10
AXIS Case Insightで録画をユーザーに関連付け	11
カメラを追加する	11
ユーザーの追加	11
新しいユーザーを作成します。	11
ユーザーのインポート	11
カメラへのユーザーの割り当て	12
固定カメラの割り当て	12
自己割り当てによるカメラの割り当て	13
カメラプロファイル	14
カメラプロファイルの編集	14
カメラプロファイルの設定	14
システムの設定	22
AXIS Body Worn Managerを開きます	22
システムの拡張	22
システムコントローラーを追加する	22
システムバックアップを設定する	23
ライブビデオをAXIS Body Worn Liveにストリーミングする	24
録画を自動的に開始する	24
転倒検知	24
アンホルスター検知	24
ワイヤレスブロードキャスト	25
プライバシーゾーンを設定する	26
録画またはストリームにロケーションを含める。	27
録画へのアクセスを制限する	27
スタンバイモードでバッテリーを節約する	28
Axisロゴオーバーレイの表示／非表示	28
カメラへのタグ割り当て	28
クラウド拡張機能	28
システムの保護	30
署名付きビデオ	30
録画の信頼性を確認する	30
証明書	30
証明書の署名要求を作成する	30
証明書のインストール	31
802.1xの設定	31
HTTPSのみを許可	31
ユーザーを管理する	33
ユーザを削除	33
ユーザーのエクスポート	33
特定のユーザーの録画を優先的にオフロードする	33
システムの監視	34
ダッシュボード	34
カメラ使用状況レポートのダウンロード	40
カメラレポートのダウンロード	41
システムコントローラーストレージを監視する	41

カメラがドッキング解除されていた期間の確認	41
証明書の有効期限が切れたカメラの概要の取得	41
別のシステムに属するカメラを検索する	42
電子メール通知の設定	42
システムのメンテナンス	43
パスワードの変更	43
アカウントの追加	43
システムレポートのダウンロード	43
カメラを別の装着式システムに移動	43
接続ファイルを変更する	44
システムからハードウェアを削除する	44
カメラを削除する	44
拡張システムコントローラーを削除	45
システムハードウェアの交換	45
カメラを交換する	45
拡張機能システムコントローラーの交換	46
システムコントローラーの交換	46
システムまたはハードウェアをリセットする	46
カメラのリセット	46
拡張システムコントローラーのリセット	46
システムのリセット	46
ペアリングされた機器を削除する	47
システムのリストア	47
複数のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する	47
単一のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する	48
デバイスがシステムに戻ることを許可する	49
破損したカメラからの録画の回復	49
システムコントローラーから録画を取得	50
却下されたコンテンツのストレージに録画を転送する	51
録画をUSBストレージデバイスにダウンロードする	51
日付と時刻を調整	51
デバイスのソフトウェア	52
AXIS OSトラック	52
デバイスソフトウェアアップグレードのパス	52
装置ソフトウェアのアップグレード	52
装置ソフトウェアのダウングレード	53
装置ソフトウェアバージョンレポート	53
システムコントローラー	54
製品概要	54
日常的な使用	55
Axis装着式カメラ	57
カメラに関する情報を検索する	57
ブックマーク	57
AXIS Body Worn Assistant	58
My camera (マイカメラ)	58
カメラユーザーとモバイルデバイスをペアリングする	59
既存のペアリングの削除	59
モバイルデバイスを装着式カメラに接続する	60
日常的な使用	60
AXIS Body Worn Live	61
AXIS Body Worn Liveの使用を開始する	61
日常的な使用	62
AXIS Body Worn TV Dashboard	63
トラブルシューティング	64
技術的な問題、ヒント、解決策	64
一般的なトラブルシューティングの手順	70

さらに支援が必要ですか?	71
サポートに問い合わせる	71
Axisとのデータの共有	71

これはAxis装着式ソリューションです。



Axis装着式ソリューション - は、コンテンツ送信先に接続された1台以上のAxis装着式システムです。この装着式システムは、コンテンツ送信先に接続されているときにのみ機能します。

Axis装着式システム - は、Axis装着式カメラ、Axis ドッキングステーション、Axisシステムコントローラー、AXIS Body Worn Managerで構成されます。

AXIS Body Worn Manager - は、装着式システムを設定して管理できるWebアプリケーションです。

AXIS Body Worn Manager Pro - は、複数の装着式システムの一元管理が可能なアプリケーションです。詳細については、「*AXIS Body Worn Manager Pro 製品ページ*」を参照してください。

AXIS Body Worn Assistant - は、装着式カメラに直接接続されたモバイル装置のためのアプリケーションで、録画したビデオを見るなどすることができます。詳細については、*AXIS Body Worn Assistant, on page 58*を参照してください。

AXIS Body Worn Live - は、装着式カメラのユーザーがWi-Fi®またはモバイルネットワークを使用してライブビデオをストリーミングするソリューションです。詳細については、*AXIS Body Worn Live*製品ページを参照してください。システムのAxis-hosted版にアクセスするには、こちらをクリックしてください。

オプションのRFIDリーダー - は、システムコントローラーに接続できません。このオプションを使用すると、カメラのユーザーは自己割り当てタグを使用して、利用可能な任意の装着式カメラの自己割り当てを行うことができます。

カメラをドッキングステーションに設置すると、ドッキングステーションはカメラのバッテリーを充電し、カメラをシステムに接続します。その後、システムコントローラーは、カメラから選択したコンテンツの保存先まですべてのデータをシームレスに転送します。また、最新の装置ソフトウェアと設定を使用してカメラを最新状態に維持し、Axis装着式ソリューションの健全性を監視します。

このシステムは、証拠管理システム(EMS)、ビデオ管理システム(VMS)、メディアサーバーなど、さまざまなタイプのコンテンツ送信先によってサポートされています。Body Worn Integration APIを使用して、サードパーティ製のVMSまたはEMSと統合することができます。developer.axis.com/vapix/body-worn-systems/からAxis開発者コミュニティに参加して、Body Worn Integration API文書を参照してください。

最新のリリースの新機能

各リリースの新機能については、*Axis装着式ソリューション - 新機能*を参照してください。

使用に当たって

装着式システムをセットアップするには、次の手順に従う必要があります。

1. システムの設置, *on page 7*
2. 初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスする, *on page 7*
3. コンテンツ送信先に接続します。コンテンツ送信先, *on page 10*を参照してください。
4. カメラを追加する, *on page 11*
5. ユーザーの追加, *on page 11*
6. カメラへのユーザーの割り当て, *on page 12*.
7. カメラプロファイルの編集, *on page 14*



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

Axis装着式ソリューションを開始する

システムの設置

注

このようなハードウェアコンポーネントが必要な場合、装着式システムをインストールします。

- システムコントローラー
 - ドッキングステーション
 - 装着式カメラ
 - コンピューター
 - ネットワークケーブル
 - 自己割り当てによるカメラの割り当てで使用するオプションのRFIDリーダー。
1. システムコントローラーをお使いのネットワークに接続します。
 2. ドッキングステーションをシステムコントローラーの [Docking stations (ドッキングステーション)] ポートに接続します。ドッキングステーションの設置：
 - 横向き
 - 通気性と空気循環の良い場所
 - 直射日光が当たらない場所
 3. 必要に応じて、RFIDリーダーをシステムコントローラーのUSBコネクターに接続します。
 4. システムコントローラーと同じネットワークにコンピューターを接続します。
 5. 装置の電源を入れます。
 6. カメラをドッキングします。
 7. 初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスする, *on page 7*に進みます。

初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスする

注

- 始める前に、以下のものがあることを確認してください。

- 最新の装置ソフトウェアバージョンを入手可能です。axis.comからダウンロードすることができます。装置ソフトウェアにアクセスするには、My Axisアカウントが必要です。
 - 利用可能なコンテンツ送信先の接続ファイル。コンテンツ送信先を参照してください。
1. お使いのネットワークのシステムコントローラーを検索します。
 - 1.1. axis.com/support/softwareに移動し、AXIS IP Utilityをダウンロードします。
 - 1.2. AXIS IP Utilityを起動します。
 - 1.3.シリアル番号を使用して、リスト内でシステムコントローラーを見つけます。シリアル番号は、システムコントローラーの底部、またはシステムコントローラーボックスのラベルに記載されています。
 - 1.4. 検索結果リストからシステムコントローラーにアクセスします。ブラウザーで AXIS Body Worn Managerが開きます。
 2. 設定アシスタントに従って設定します。
 - 2.1. 新しいシステムを設定する場合は、[Create a new system (新しいシステムの作成)] を選択します。
既存のシステムにシステムコントローラーを追加する場合は、[Extend an existing system (既存のシステムを拡張する)] を選択し、「システムの拡張, on page 22」の手順に従います。
 - 2.2. 通常のシステムを設定する場合は、[Standard (標準)] モードを選択します。ソリューションを試す場合は、[Evaluation (評価)] モードを選択します。評価モードの詳細については、評価モード, on page 9を参照してください。
 - 2.3. 管理者アカウントを作成します。管理者ユーザー名はrootです。
 - 2.4. 最新の装置ソフトウェアバージョンをインストールします。axis.com から装置ソフトウェアをダウンロードすることができます。装着式システムのさまざまなAXIS OS トラックがサポートされています。これにより、[Active track (アクティブトラック)] の最新機能をすべて利用する場合も、[Long-term support (LTS) track (長期サポート (LTS) トラック)] の安定性を優先する場合も、システムに最適なトラックを選択することができます。詳細については、デバイスのソフトウェア, on page 52を参照してください。
 - 2.5. 装着式システムに名前を付けます。これにより、コンテンツ送信先や異なるクラウドサービス内での識別が容易になり、重要なシステムイベントに関する電子メール通知を受け取る際にも簡単に識別できます。システム名は [Settings (設定)] で変更できます。
 - 2.6. ネットワークを設定します。
 - 2.7. 接続ファイルを使用してシステムをコンテンツ送信先に接続します。コンテンツの保存先には、録画とメタデータが保存され、管理されています。装着式システムは、接続されるとコンテンツの保存先にロックされます。コンテンツの保存先を変更するには、まず装着式システムをリセットする必要があります。詳細については、コンテンツ送信先, on page 10を参照してください。
 - 2.8. スーパーアドミンパスフレーズは、装着式システムのセキュリティを強化します。システムの復元など、システムの重要な操作には、スーパーアドミンパスフレーズによる認証が必要です。これは、装着式システムとセーフモード中のカメラの間の接続を再確立するときにも必要です。パスフレーズを変更することはできません。
 - 2.9. システム復元キーは重要なセキュリティ機能です。装着式システムでは、特定の操作のためにシステム復元キーが必要です。これらの操作には、故障したシステムコントローラーの交換後に、装着式システムと既存のカメラ間の接続を再確立することなどが含まれます。システム復元キーをコンピューターにダウンロードし、安全な場所に保存します。
 - 2.10. お客様の地域で使用されている電源周波数を選択します。正しい周波数が使用されないと、画像のちらつきが少なくなります。アメリカ地域では、通常60 Hzが使用

されています。世界の他の部分では、ほとんどの場合50 Hzで使用されています。お客様の地域の電源周波数がわからない場合は、地方自治体に確認してください。

- 2.11. カメラは2つの方法でユーザーに割り当てるすることができます。[Fixed (固定)] カメラの割り当ての場合、各ユーザーは1台の特定のカメラに手動で割り当てられます。[Self-assign (自己割り当て)] の場合、カメラユーザーはシステムに接続されたRFIDリーダーの自己割り当てタグをタップして、利用可能な任意のカメラを選択します。システムをリセットせずに固定と自己割り当てを切り替えることはできません。詳細については、カメラへのユーザーの割り当て, *on page 12*を参照してください。
3. 正しい日付と時刻を設定します。時刻を正しく設定することは、いくつかの理由から重要です。日付と時刻を調整, *on page 51*を参照してください。

安全なパスワード

重要

ネットワーク上でパスワードやその他の機密設定を行う場合は、HTTPS (デフォルトで有効になっています) を使用してください。HTTPSを使用すると、安全で暗号化された形でネットワークに接続できるため、パスワードなどの機密データを保護できます。

デバイスのパスワードは主にデータおよびサービスを保護します。Axisデバイスは、さまざまなタイプのインストールで使用できるようにするためパスワードポリシーを強制しません。

データを保護するために、次のことが強く推奨されています。

- 8文字以上のパスワードを使用する (できればパスワード生成プログラムで作成する)。
- パスワードを公開しない。
- 一定の期間ごとにパスワードを変更する (少なくとも年に1回)。

評価モード

重要

評価モードのシステムを標準モードに変更することはできません。

装着式ソリューションを試したい場合は、システムを評価モードで設定することができます。標準モードと同様に、カメラ、システムコントローラー、コンテンツ送信先間の通信は、すべて暗号化されます。評価モードでは、以下の操作を行えます。

- システム内にカメラや拡張システムコントローラーが残っている場合や、コンテンツ送信先に転送されていない録画がある場合でも、システムを簡単にリセットできます。システム内にドッキングされていないカメラがある場合、システムをリセットしようとすると警告が表示されます。ドッキングされていないカメラは、システムをリセットしてもリセットされず、個別にリセットする必要があります。
- カメラはドッキングされているかどうかに関わらず、いつでもリセットすることができます。転送されていない録画は削除されます。リセットしたカメラをシステムに再度追加する場合は、まずそのカメラを強制的に削除します。カメラの強制削除, *on page 44*を参照してください。
- AXIS Body Worn Managerには、ユーザー名 (demo) とパスワード (demo) が事前に設定されたデモアカウントがあります。デモアカウントを削除することはできません。デモアカウントでは、管理者アカウントのパスワードを紛失した場合でもシステムにログインできます。システムのバックアップと復元、ハードウェアの削除、コンテンツ送信先に転送できなかった録画の取り出しなどが可能です。

AXIS W100またはAXIS W101 Body Worn Cameraをリセットするには：

1. 機能ボタンと録画ボタンを同時に2回押して、カメラが評価モードになっていることを確認します。
カメラが評価モードになっている場合、すべてのLEDがオレンジ色に点滅します。
2. 7秒以内に録画ボタンを2回押してカメラをリセットします。

AXIS W102、AXIS W120、またはAXIS W110 Body Worn Cameraをリセットするには：

1. 電源ボタンを2回押して、カメラが評価モードになっていることを確認します。
カメラが評価モードになっている場合、AXIS W102とAXIS W120のディスプレイには、*Evaluation mode*というテキストが表示されます。AXIS W110では、すべてのLEDがオレンジ色に点滅します。
2. 7秒以内に再度電源ボタンを2回押してカメラをリセットします。

コンテンツ送信先

コンテンツ送信先は、録画とメタデータを保存および管理します。たとえば、送信先はEMS(証拠管理システム)、VMS(ビデオ管理システム)、メディアサーバーなどになります。Axis装着式ソリューションは複数の異なるコンテンツの保存先をサポートします。

すべてのコンテンツ送信先には、Axis装着式システムと統合するための接続ファイルが必要です。接続ファイルは、コンテンツの保存先に生成されます。接続ファイルを生成する方法については、コンテンツ送信先のユーザーヘルプを確認してください。

コンテンツ送信先との接続にも、ネットワーク通信が正しく動作している必要があります。たとえば、プロキシ、ファイアウォール、ウイルス対策が適切に設定されている必要があります。

重要

装着式システムの時刻とタイムゾーンは、コンテンツ送信先の時刻とタイムゾーンと常に一致している必要があります。日付と時刻を調整、on page 51を参照してください。

AXIS Camera Station Proに接続する

AXIS Camera Station ProをAxis装着式システムに組み合わせる方法については、*AXIS Camera Station Pro インテグレーターガイド*を参照してください。

AXIS Camera Station 5に接続する

AXIS Camera Station 5をAxis装着式システムに組み合わせる方法については、*AXIS Camera Station 5 インテグレーターガイド*を参照してください。

AXIS Case Insightに接続する

AXIS Case InsightをAxis装着式システムに組み合わせる方法については、*AXIS Case Insight System Integrator Guide*を参照してください。

サードパーティ製アプリケーションとの統合

Genetec Security Centerとの統合方法については、*Body worn integration Genetec*をご覧ください。また、Milestone XProtect®との統合方法については、*AXIS Optimizer Body Worn Extension*をご覧ください。

注

- ボディが保存、削除、変更されたときや、カメラの名前を変更したときなど、装着式システムは、コンテンツの送信先に変更をプッシュします。このタイプの通信は1つの方法です。そのため、コンテンツの宛先が、対応する変更内容を装着式システムにプッシュすることはありません。
- 装着式システムを使用するには、事前にコンテンツの保存先に接続する必要があります。
- 接続ファイルは、コンテンツ送信先に接続されてからご使用のコンピューターから削除することをお勧めします。
- 装着式システムは、接続されるとコンテンツの保存先にロックされます。コンテンツの保存先を変更するには、まず装着式システムをリセットする必要があります。
- 装着式システムをリセットする前に、コンテンツの保存先を絶対に削除またはリセットしないでください。必ず装着式システムを最初にリセットしてください。最初にコンテンツの保存先を削除またはリセットすると、録画がカメラまたはシステムコントローラーに残り、装着式システムをリセットできなくなります。これは、すべての証拠がコンテンツの保存先にアップロードされるようにするセキュリティ機能です。

AXIS Case Insightで録画をユーザーに関連付け

AXIS Case Insightに転送された録画は、ユーザーに関連付けられます。AXIS Case Insightユーザーは、カメラを装着している人(カメラユーザー)に対応しています。関連付けにより、ケース作成時などに、特定の人が行った録画を検索して収集することが容易になります。

AXIS Case Insightで録画をユーザーに関連付ける方法については、新しいユーザーを作成します。, *on page 11*を参照してください。

カメラを追加する

1. システムに追加するカメラをドッキングします。カメラのLEDがオレンジ色で点滅します。
2. [Cameras (カメラ)]  に移動します。
3. [カメラ] リストで、[New (新規)] をクリックします。
4. [Add cameras (カメラを追加)] リストで、追加するカメラを選択し、[Add (追加)] をクリックします。
カメラが追加されると、カメラの状態が [Adding (追加中)] から [Docked (ドッキング済み)] または [Charging (充電中)] に変わります。これには数分かかることがあります。

ユーザーの追加

システム内のカメラユーザーは、録画と装着式カメラを使用している人の間のリンクです。カメラユーザーを追加するには、システムで直接作成するか、ファイルからインポートします。

- 新しいユーザーを作成します。, *on page 11*
- ユーザーのインポート, *on page 11*

新しいユーザーを作成します。

1. [Users (ユーザー)]  に移動します。
2.  をクリックして、新規ユーザーを追加します。
3. 次のユーザー情報を入力します。
 - 3.1. ユーザーの名前(オーバーレイに表示できます)。
 - 3.2. 組織内でのユーザー固有のID(オーバーレイに表示できます)。
 - 3.3. 必要に応じて、AXIS Case Insightユーザー名を入力します。

注

- このオプションは、AXIS Case Insightを使用している場合にのみ表示されます。
- ユーザーの電子メールアドレスをユーザー名として入力すると、対応するゲストユーザーがAXIS Case Insight内に作成されます。このゲストユーザーは、システムに記録された証拠にアクセスできません。ユーザーのアクセス権は、AXIS Case Insightで管理されます。
- 既存のユーザーのユーザー名を変更することはできません。これを行うには、ユーザーを削除して再度追加する必要があります。
- 3.4. [Camera profile (カメラプロファイル)] を選択します。

4. [Add user (ユーザーの追加)] をクリックします。

ユーザーのインポート

装着式システムにより、カメラユーザーのデータをCSV UTF-8(カンマ区切り)ファイルからインポートすることができます。これは、新しいユーザーを追加したり、ユーザーIDを使用して既存の

カメラユーザーのユーザー名とカメラプロファイルを更新したりするための最も効率的な方法です。

A	B	C	D	E	F
1 #ID (required)(max 30 characters)	Name (required)(max 60 characters)	Policy	Email	RFID number	
2 123	Officer_James	Default		1D1AC750	
3 567	Officer Paul	Default		FDA3C650	
4 987	Officer Smith	Default		3DFDC650	
5					
6					

CSVファイルの例

ユーザーごとにRFIDを含めることもできます。つまり、自己割り当てのカメラ割り当てを使用している場合に、自己割り当てタグを個別にペアリングするのではなく、一度にすべてのユーザーにRFIDタグを関連付けることができます。

インポートする前に、すでに更新するユーザーがシステムに存在する場合は、ユーザーのエクスポート, *on page 33*を参照してください。

カメラユーザーをインポートするには:

1. [Users (ユーザー)]  に移動します。
2. コンテキストメニュー  を開き、[Import users (ユーザーのインポート)] をクリックします。
3. ユーザー、ユーザーID、RFIDの正しい形式を示す [CSV template (CSVテンプレート)] をダウロードします。
4. CSVファイルにユーザーとユーザーIDを入力します。
5. [Select CSV file (CSVファイルの選択)] をクリックし、作成したファイルを選択します。
6. ステータス ウィンドウに表示されている競合をすべて解決し、[インポート] をクリックします。

カメラへのユーザーの割り当て

注

- ユーザーが割り当てられていない場合、カメラは機能しません。ドッキングを解除すると、カメラのLEDが赤く点滅します。これは、使用前にユーザーをカメラに割り当てる必要があることを示しています。
- ユーザーを割り当てるができるのは、ユーザーのカメラプロファイル内のすべての機能をサポートしているカメラのみです。

カメラへのユーザーの割り当てには次の2つの方法があります。

- 固定カメラの割り当て, *on page 12*
- 自己割り当てによるカメラの割り当て, *on page 13*

固定カメラの割り当て

装着式システムの管理者またはローカル管理者がカメラユーザーを1台の特定のカメラに割り当てます。そのカメラユーザーは常に同じ装着式カメラを使用します。特定のカメラへのユーザーの割り当てを参照してください。

特定のカメラへのユーザーの割り当て

注

システム設定ウィザードで、固定カメラ割り当てが選択されています。自己カメラ割り当てに変更するには、システムをリセットする必要があります。

1. [Cameras (カメラ)]  に移動します。
2. ユーザーを割り当てるカメラを開きます。
3. [Assigned user (割り当てられたユーザー)] リストで、ユーザーを選択します。

自己割り当てによるカメラの割り当て

注

自己割り当てに使用できるのは、少なくとも60%のバッテリー残量と60%のストレージ残量を持つカメラのみです。

カメラユーザーがシステムに接続されたRFIDリーダーの自己割り当てタグをタップします。そうすると、システムによって、ユーザーが使用可能なカメラに割り当てられます。割り当てられたカメラのLEDが緑色に点滅します。これは、ユーザーがカメラをドッキング解除できることを示すものです。

装着式システムの場合、ハードウェアの設置場所が異なる場合や、システム全体が同じ部屋にある場合もあります。システム設定に該当するオプションを選択します。

1つのロケーション、自動割り当て -すべてのカメラとシステムコントローラーが同じ部屋にある場合。

複数のロケーション、自動割り当て -カメラとシステムコントローラーが異なる場所に分散されている場合。複数のロケーションの自動割り当てを選択すると、ユーザーはカードリーダーと同じ場所からカメラを選択することができますが、システム内のどのロケーションにもカメラをドッキングできます。

自己割り当てによるカメラの割り当ての設定については、自己割り当てによるカメラの割り当てを設定するを参照してください。

自己割り当てによるカメラの割り当てを設定する



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

自己割り当てによるカメラの割り当てを設定する

注

- システム設定ウィザードで、自己割り当てによるカメラの割り当てが選択されています。固定カメラの割り当てに変更するには、システムをリセットする必要があります。
- この設定には、RFIDリーダー **External RFID Card Reader 125kHz + 13.56MHz with NFC (USB)** が必要です。このリーダーには2つのモデルがあります。モデル名は製品ラベルに印刷されています。
 - **TWN4 Multitech**は、すべての装置ソフトウェアバージョンでサポートされています。
 - **TWN4 Multitech 2 LF HF**には、装置ソフトウェアバージョン10.12以降が必要です。

自己割り当てによるカメラの割り当てを設定するには:

1. RFIDリーダーをシステムコントローラーに接続します。リーダーのLEDが緑色に点灯するのを待ちます(約15秒かかります)。これで、リーダーの装置ソフトウェアが正しくなり、使用できるようになりました。
2. 各RFIDタグを個別にペアリングするには、次の手順に進みます。

または、既存のRFIDをすべてのユーザーに一度に関連付ける方法については、ユーザーのインポート, *on page 11*を参照してください。

3. RFIDリーダーの接続をシステムコントローラーから外します。
4. **AXIS Body Worn Manager**へのアクセスに使用するコンピューターと同じRFIDリーダーを接続します。

注

リモートデスクトップソリューションによる設定はサポートされていません。RFIDリーダーは、**AXIS Body Worn Manager**へのアクセスに使用するコンピューターに直接接続する必要があります。

5. **AXIS Body Worn Manager**で、[Users (ユーザー)]  に移動します。
6. 自己割り当てタグとペアリングするユーザーを選択します。
7.  をクリックして、新しい機器をペアリングします。
8. [Pair (ペアリング)] (自己割り当てタグ) をクリックします。
9. RFIDリーダーの自己割り当てタグをタップして登録します。ユーザーインターフェースのすべてのドットが黄色になるまでタップし続けます。

注

複数のペアリングを行う場合は、手順6~9を繰り返します。

10. RFIDリーダーの接続をコンピューターから外します。
11. 同じRFIDリーダーをシステムコントローラーに接続します。

これで、カメラユーザーはタグを使用して、装着式カメラの自己割り当てを行えるようになります。

カメラプロファイル

カメラプロファイルを使用して、1つのユーザーグループに同じカメラ設定を適用します。たとえば、昼と夜のシフトに異なるプロファイルを作成できます。新しいユーザーには、デフォルトのカメラプロファイルが割り当てられます。

カメラプロファイルの編集

1. [Camera profiles (カメラプロファイル)]  に移動し、設定済みのカメラプロファイルの1つをドロップダウンメニューから選択します。
2.  をクリックして、選択したカメラプロファイルを編集します。
3. カメラプロファイルの [Name (名前)] を編集します。
4. カメラプロファイルの **Description (説明)** を入力します。
5. このカメラプロファイルを持つユーザーのカメラ割り当てに利用できるようにするカメラを選択します。
6. [完了] をクリックします。
7. リスト内の装置を展開して設定を編集します。各設定の詳細については、カメラプロファイルの設定, *on page 14*を参照してください。

カメラプロファイルの設定

AXIS Body Worn Cameras

このセクションで説明する機能と設定のサポートは、カメラモデルによって異なります。このアイコン  は、機能または設定が一部のカメラモデルでのみ使用できることを示しています。

ビデオ	録画画質	<ul style="list-style-type: none"> 720P 720p 高  1080p。AXIS W100およびAXIS W101の場合、プリバッファは最大90秒に制限されます。 1080p高 。AXIS W100およびAXIS W101の場合、プリバッファは最大60秒に制限されます。 <p>high (高)設定では圧縮率が低く、シャープネスが向上し、ビットレートがより高くなります。これらの設定は、インシデントベースの録画に適しています。</p>
	ライブストリーム画質	<ul style="list-style-type: none"> 320P 720P
	電子動体ブレ補正	揺れや振動による影響を最小限に抑え、より滑らかで安定した画像を提供します。
	たる型歪曲の補正	バレル歪曲(たる型歪曲)とは、映像が外側に向かって曲がったように見えるレンズ効果のことです。[Barrel distortion correction(たる型歪曲の補正)]をオンになると、よりまっすぐな画像が得られます。
音声	録画の音声を含みます。	
	最適化	<ul style="list-style-type: none"> デフォルト - 増幅された音声。ほとんどの環境に適しています。 Post-processing (ポストプロセス) - 未処理(自動ゲインコントロールまたはノイズ低減なし)のステレオ音声。独自の信号処理アルゴリズムをオンラインで適用する場合、または単方向で最適化されていない音声が必要な場合のポストプロセスアップリケーションに適しています。デフォルトの

		<p>最適化に比べて、音声レベルが大幅に低くなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Voice (声)  - 単調な環境音をフィルタリングして、録画内の声を分離します。 				
Standby mode (スタンバイモード) 	<p>録画していないときはカメラを省電力モードにします。</p> <p>動作時間が伸びます。</p> <p>プリバッファとの併用はできません。</p>					
プリバッファ	<p>プリバッファにより、録画開始前に録画時間を追加してイベント全体を確実にキャプチャーできます。</p> <table> <tr> <td>長さ</td><td>プリバッファの長さ：15秒、30秒、60秒、90秒、または120秒。AXIS W100およびAXIS W101の場合、オプションの120秒は720pの画質でのみ使用できます。</td></tr> <tr> <td>音声</td><td>プリバッファの音声を含みます。</td></tr> </table>	長さ	プリバッファの長さ：15秒、30秒、60秒、90秒、または120秒。AXIS W100およびAXIS W101の場合、オプションの120秒は720pの画質でのみ使用できます。	音声	プリバッファの音声を含みます。	
長さ	プリバッファの長さ：15秒、30秒、60秒、90秒、または120秒。AXIS W100およびAXIS W101の場合、オプションの120秒は720pの画質でのみ使用できます。					
音声	プリバッファの音声を含みます。					
ポストバッファ	<p>カメラユーザーが録画を停止した後、録画を続行します。それでも、カメラには録画が停止したことが表示されます。</p> <p>[Audio (音声)] で音声をオンにすると、音声がポストバッファに含まれます。</p> <table> <tr> <td>長さ</td><td>ポストバッファの長さ：10秒、30秒、または60秒。</td></tr> </table>	長さ	ポストバッファの長さ：10秒、30秒、または60秒。			
長さ	ポストバッファの長さ：10秒、30秒、または60秒。					
場所  アシストGNSS (エフェメリス) が有効	<p>カメラの地理的位置情報を座標として表示します。</p> <p>屋外用途にのみ推奨。</p> <p>動作時間が短くなります。</p>	<p>モード</p> <ul style="list-style-type: none"> • 録画中およびストリーミング中 - コンテンツ送信先が連続更新に対応している場合、撮影中に、カメラの動きを軌跡として保存することができます。その後、その動きを軌跡として表示することもできます。連続更新がサポートされていない場合は、録画の開始位置と終了位置が保存されます。カメラの位置を表示するオーバーレイを使用している場合は、それが更新されて表示されます。 <p>ストリーム中は、カメラの位置は継続的に更</p>				

		<p>新され、AXIS Body Worn Liveに送信されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Always (常時) – カメラがドッキングされていないときも、カメラの位置情報をAXIS Body Worn Liveに送信します。
オーバーレイ	オーバーレイは、ビデオストリームに重ねて表示されます。録画に追加情報を提供します。マイクがオフの状態でも、常に情報が得られます。	
	ユーザー名	カメラユーザーの作成時に入力した名前を表示します。
	ユーザーID	カメラユーザーの作成時に入力したユーザーIDを表示します。
	位置 	カメラの現在の地理的位置情報を座標として表示します。[Location (位置情報)] がオンになっている必要があります。
作動	<p>録画ボタン</p> <p>常時録画</p> <p>転倒検知で録画</p> <p>転倒検知でライブストリーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> Single press (1回押す) - ユーザーがボタンを1回押すと録画を開始します。 Double press (2回押す) - ユーザーがボタンを2回押すと録画を開始します。この設定は、AXIS TW1201 Mini Cube Sensorがカメラに接続されている場合にも適用されます。 <p>カメラユーザーがカメラをドッキング解除すると録画を開始し、再度ドッキングするまで録画を続けます。カメラユーザーは、録画ボタンを使用して録画を停止することはできません。ユーザーがカメラの電源をオフにすると、録画は停止します。カメラの電源をオンにすると、録画が自動的に開始されます。録画ボタンは、ブックマークの作成やライブストリームの停止に使用できます。</p> <p>カメラが転倒を検知すると、録画が開始します。</p> <p>カメラが転倒を検知すると、ライブストリームが開始します。 [AXIS Body Worn Live]</p>

		で [Record on fall detection (転倒検知で録画)] と [Streaming (ストリーミング)] がオンになっている必要があります。
	Broadcast wireless signal (ワイヤレス信号をブロードキャストする)	このカメラが録画を開始すると、近くにある他のカメラも録画を開始します。他のカメラで [Receive wireless broadcast (ワイヤレスブロードキャストの受信)] をオンにしている必要があります。
	信号強度 	カメラからのワイヤレスブロードキャスト信号の到達範囲を調整します。記載されている距離は、障害物のない屋外のオープンスペースに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> 高 - 最大100メートル (328フィート)。 中 - 最大75メートル (246フィート)。 低 - 最大35メートル (115フィート)。
	ドッキング解除時の遅延	ドッキング解除後、ワイヤレスブロードキャストを2分、5分、10分、または30分間無効にします。
	ワイヤレスブロードキャスト受信で録画	近くのカメラから録画信号がブロードキャストされると、このカメラが録画を開始します。
	プライバシーゾーン放送応答	カメラがプライバシーゾーンの放送に対して行う対応。 <ul style="list-style-type: none"> ありません アラート - カメラが3回ビープ音と振動を発するか、音声クリップを再生します。
フィードバック	フロント録画インジケーター	カメラが録画中のインジケーターの状態: <ul style="list-style-type: none"> ありません 点灯 点滅 AXIS TW1201 Mini Cube Sensorを接続した場合、インジケーターの動作はミニキューブセンサーの前面の録画インジケーターに適用されます。

	アラート	カメラからのフィードバック: <ul style="list-style-type: none"> 振動 サウンド 音と振動  声 Voice and vibration 
	Low battery warning (バッテリー残量低下の警告)	バッテリー残量が0.5時間未満になると、カメラはフィードバックを返します。 <ul style="list-style-type: none"> 1回のみ – カメラは1回のみビープ音を鳴らし、振動します。 定期的 – カメラは2分ごとに1回ビープ音を鳴らし、振動します。 定期的(強化版) – カメラは1分ごとに3回ビープ音を鳴らし、振動します。
	録画オン時の定期的リマインダー	録画中、カメラは一定の間隔でアラートを出します。これは、リマインダーとしてだけでなく、カメラが録画中であるとの確認としても機能します。これは主に、インシデントベースの録画に適しています。定期的リマインダーの間隔を選択します。
	Periodic reminder when recording is off (録画オフ時の定期的リマインダー)	録画がオフになっていると、カメラは定期的にアラートを出します。これは特に、連続録画する場合に適しています。休憩後などに再び録画を開始するようユーザーに促すことができるためです。定期的リマインダーの間隔を選択します。[Escalating (エスカレート)] をオンにすると、アラームの頻度が徐々に増加します。
カメラ機能へのアクセス	サイレントモードを有効にする 	これにより、カメラユーザーはディスプレイ、前面の録画インジケーター、アラートをオフにすることができます。
	マイクのミュートを許可する	これにより、カメラのユーザーは音声録画をオフにすることができます。

AXIS TW1201 Mini Cube Sensor 	Disable main camera recording button (メインカメラの録画ボタンを無効にする)	ミニキューブセンサーが接続されている場合、メインの装着式カメラの録画ボタン(録画の開始と停止に使用)を無効にします。ミニキューブセンサーの録画ボタンのみを使用する場合は、このオプションを選択します。
	画像を180度回転	映像を回転できることで、ミニキューブセンサーの取り付けの柔軟性が向上します。

AXIS Body Worn Assistant

録画へのアクセスを許可する	AXIS Body Worn Assistantで、カメラユーザーが自分の録画を見る能够性を有効にします。
ワイヤレスネットワークの変更を許可する	AXIS Body Worn Assistantで、カメラユーザーがワイヤレスネットワークを変更できるようにします。ユーザーがAXIS Body Worn Assistantでネットワークを変更すると、AXIS Body Worn Managerでも変更されます。
ユーザーにカテゴリーの設定を許可	AXIS Body Worn Assistantで、カメラユーザーが自分の録画を分類できるようにします。

ワイヤレス接続

Wi-Fiネットワーク	AXIS Body Worn Liveへのビデオと音声のストリーミングに使用するWi-Fiネットワークを割り当てます。
-------------	---

AXIS Body Worn Live

装着式システムをAXIS Body Worn Liveに接続した場合のみ表示されます。

ストリーミング	カメラユーザーがAXIS Body Worn Liveにストリーミングすることを許可します。詳細については、AXIS Body Worn Live Axis-hostedユーザー マニュアルのライブストリーミングを有効にするを参照してください。	
	ライブストリームの録画	カメラのユーザーが録画ボタンを押して録画を開始すると、同時にライブストリームが開始されます。
リモートストリーム有効化	オペレーターがAXIS Body Worn Liveからリモートでライブストリーミングを開始できるようになります。カメラをワイヤレスネットワークに接続する必要があり、これによりバッテリー駆動時間が短くなります。	

	モード	<ul style="list-style-type: none">• While recording (録画中) – カメラの録画中にリモートからストリーミングを開始できます。• Always (常時) – カメラがドッキングされていないとき、リモートからストリーミングを開始できます。
--	-----	---

システムの設定

AXIS Body Worn Managerを開きます

1. ブラウザーを開き、システムコントローラーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。IPアドレスが不明な場合は、初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスする, on page 7を参照してください。
2. ユーザー名と管理者パスワードを入力します。
ブラウザーでAXIS Body Worn Managerが開きます。

注

デフォルトの管理者アカウントのユーザー名はrootです。

システムの拡張

システムコントローラーを追加することにより、システムを拡張することができます。システムコントローラーを追加すると、最大1000台のカメラをシステムに追加できるようになります。拡張システムコントローラーは、既存のシステムのインスタンスになります。すべての設定は、システムから拡張システムコントローラーに継承されます。拡張システムコントローラーに追加されたユーザーとカメラは、AXIS Body Worn Managerを通して管理されます。

1. 新しいシステムコントローラーを既存のボディの磨耗したシステムと同じネットワークに接続します。
2. 新しいシステムコントローラーにアクセスします。初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスするを参照してください。
3. [Extend an existing system (既存のシステムを拡張する)] を選択します。
4. 管理者パスワードを作成し、[Okay (OK)] をクリックします。
5. 最初に装着式システムコントローラーのIPアドレスを入力し、[Connect (接続)] をクリックします。

注

拡張システムコントローラーの装置ソフトウェアバージョンが既存のシステムよりも新しい場合は、既存のシステムをアップグレードするか、拡張システムコントローラーをダウングレードするように求められます。

6. 新しいシステムコントローラーを装着式システムに追加します。システムコントローラーを追加するを参照してください。

注

- 分散システムでは安定したネットワーク接続が必要です。接続が悪いと、たとえば、ユーザーがカメラを自己割り当てできないことがあります。
- 装着式システムは、1つのタイムゾーンをサポートします。録画の日付と時刻は、拡張システムコントローラーとカメラがある場所のタイムゾーンに関係なく同じです。

システムコントローラーを追加する

1. 新しいシステムコントローラーをインストールします。システムの拡張を参照してください。
2. [System controllers (システムコントローラー)]  に移動します。
3. [システムコントローラー] リストで、[New (新規)] をクリックします。
4. [Add system controllers (システムコントローラーの追加)] リストで、追加するシステムコントローラーを選択し、[Add (追加)] をクリックします。

新しいシステムコントローラーにアクセスするには:

1. [System controllers (システムコントローラー)]  に移動します。

2. アクセスする拡張システムコントローラーを開きます。
3. コンテキストメニュー  を開きます。
4. [Open] (開く) をクリックします。

システムバックアップを設定する

システムバックアップにより、すべての設定が拡張システムコントローラーに保存されます。まれな状況として、システムを最初に作成したシステムコントローラーが故障した場合でも、装着式システムをリストアすることができます。バックアップには、すべてのユーザー、カメラプロファイル、カメラの割り当て、およびシステム設定が含まれます。バックアップは24時間ごとに自動的に更新されます。システムバックアップは、複数のシステムコントローラーを備えたシステムで利用できます。



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

Axisの装着式システムのバックアップとリストア

システムバックアップを設定するには：

1. [Settings (設定)]  > [System (システム)] > [System backup (システムバックアップ)] の順に移動します。
2. [Configure (設定)] をクリックします。
3. [System controller backup (システムコントローラーのバックアップ)] を選択します。
4. バックアップを保存する拡張システムコントローラーを選択します。
5. [保存] をクリックします。

スケジュールされたバックアップを待たなくとも、いつでもシステムを手動でバックアップできます。これにより、すべてのデータと設定を必要に応じて保存できます。手動でバックアップを

開始するには、[Settings (設定)]  > [System (システム)] > [System backup (システムバックアップ)] の順に移動して、[Backup now (今すぐバックアップ)] をクリックします。

注

- バックアップには録画された証拠は含まれません。
- バックアップシステムコントローラーに物理的にラベルを付けることをお勧めします。これは、まれな状況としてシステムが最初に作成されたシステムコントローラーが故障した場合に、それを識別する方法になります。
- バックアップを行うには、複数のシステムコントローラーを備えた装着式システムが必要です。

システムを復元する場合は、複数のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する, *on page 47*を参照してください。

システムバックアップの同期に失敗した場合、システム通知を受け取ることができます。電子メール通知の設定, *on page 42*を参照してください。

ライブビデオをAXIS Body Worn Liveにストリーミングする

AXIS Body Worn Liveを使用すると、装着式カメラのユーザーはWi-Fi®またはモバイルネットワークを介してライブ映像と音声をストリーミングできます。次の2つのホスティングオプションがあります。

 **Axis-hosted** – Axisクラウド上で運用される。ユーザー マニュアル

 **Self-hosted** – ユーザーの環境で運用される。ユーザー マニュアル

録画を自動的に開始する

プリバッファと組み合わせて、自動録画を有効にすることで、カメラユーザーが手動で記録を開始しなくとも、インシデント全体がキャプチャーされます。以下を使用して、録画を自動的に開始するようにカメラを設定できます。

- 転倒検知, *on page 24*
- アンホールスター検知, *on page 24*
- ワイヤレスプロードキャスト, *on page 25*

転倒検知

カメラを装着している人が転倒すると、転倒検知をトリガーとしてカメラの録画とライブストリームを自動的に開始することができます。この機能は、プリバッファと組み合わせることで、手動で起動することなく、インシデント全体を確実にキャプチャーします。

転倒検出をオンにする：

1. [Camera profiles (カメラプロファイル)]  に移動します。
2. 編集するカメラのプロファイルを開きます。
3. [Activation (起動)] で [Record on fall detection (転倒検知で録画)] をオンにします。
4. 録画とライブストリーミングをオンにするには、[Live stream on fall detection (転倒検知でライブストリーム)] をオンにします。

アンホールスター検知

ホールスター センサーは、アンホールスターを検出して、自動的にビデオ録画をトリガーします。この機能は、プリバッファと組み合わせることで、手動で起動することなく、インシデント全体を確実にキャプチャーします。この機能を使用するには、カメラユーザーを Yardarm ホールスター センサーとペアリングする必要があります。同じカメラユーザーに2個目のホールスター センサーをペアリングするには、この手順を繰り返します。



装着式カメラ用ホールスター センサーの設定

アンホールスター検知を有効にするには、次の手順に従います。

1. ホールスター センサーが電源から切断されていることを確認します。

2. [Users (ユーザー)]  に移動し、ホルスター センサーをペアリングするユーザーを選択します。
3.  をクリックして、新しい機器をペアリングします。
4. [Pair (ペアリング)] (ホルスター センサー) をクリックします。
5. カメラをドッキングします (カメラの割り当て方法に応じて、以下のいずれかの操作を行います)。
 - 固定カメラの割り当て: ホルスター センサーとペアリングする装着式カメラユーザーに割り当てられたカメラをドッキングします。
 - 自己割り当てによるカメラの割り当て: カメラがドッキングされているのを確認します。
6. ホルスター センサーに記載されている6文字のシリアル番号を入力します。
7. カメラのドッキングを解除します (カメラの割り当て方法に応じて、以下のいずれかの操作を行います)。
 - 固定カメラの割り当て: カメラのドッキングを解除し、カメラが起動するのを待ちます。ステータスLEDが緑色に点灯します。
 - 自己割り当てによるカメラの割り当て: カメラを自己割り当てし、カメラのドッキングを解除してカメラの起動を待ちます。ステータスLEDが緑色に点灯します。
8. ホルスター センサーに電源を接続します。
9. AXIS W102とAXIS W120では、ホルスター センサーのアイコンが白色に点灯してペアリングが開始されたことを示します。他のカメラモデルでは、Wi-Fi®接続LEDが黄色に点滅します。アイコンまたはLEDが緑色に点灯するまで待ちます。点灯はペアリングが成功したことを示します (最大20秒かかることがあります)。ペアリングに失敗すると、アイコンまたはLEDが赤色に点灯します。
10. ホルスター センサーから電源を外します。
11. ホルスター センサーを取り付け、ホルスターを外して、ペアリングが成功したことを確認します。カメラの録画LEDが赤色に点灯します。
12. カメラをドッキングします。

ペアリングが完了したら、ペアリングされた機器で、ホルスター センサーのペアリング状況を確認してください。緑色の状態は、ペアリングが装着式システムに登録されていることを示しています。

カメラを日常的にホルスター センサーに接続するには、カメラのドッキングを解除し、ドッキング解除後10分以内はカメラがホルスター センサーの範囲内にあることを確認します。通常の状況では、この範囲は5~10 m (16~33フィート)です。

ワイヤレスブロードキャスト

ワイヤレスブロードキャストにより、カメラは、同じ装着式システムに属する近くにある他のカメラで、録画をアクティブにすることができます。

1台のカメラが録画を開始すると、近くにある他のカメラにワイヤレス信号をブロードキャストします。ブロードキャストは5秒間続けます。ブロードキャストを受信したカメラも自動的に録画を開始します。

注

ワイヤレス信号を検知できるかどうかは、周囲の環境に大きく依存します。

1. [Camera profiles (カメラプロファイル)]  に移動します。
2. 編集するカメラのプロファイルを開きます。
3. カメラのブロードキャストが他のカメラの録画をオンにするようにするには、[Broadcast wireless signal (ワイヤレス信号をブロードキャストする)] をオンにします。

4. 信号の到達範囲を設定するには、[Signal strength (信号強度)] を調整します。
5. ドッキング解除直後に他のカメラで録画が開始されないようにするには、[Delay at undock (ドッキング解除時の遅延)] でブロードキャストを保留する時間を設定します。この設定は、カメラユーザーがカメラのドッキング解除後に定期的にテスト録画を行う場合に便利です。
6. 他のカメラからブロードキャストを受信したときにカメラが録画を開始するようにするには、[Receive wireless broadcast (ワイヤレスブロードキャストの受信)] をオンにします。

プライバシーゾーンを設定する

カメラのユーザーに、録画を中止すべき機密区域に入ったことを知らせるため、プライバシーゾーンを設定することができます。ユーザーが機密区域に入力すると、カメラが振動し、3回ビープ音を鳴らすか、または音声クリップを再生します。ユーザーがプライバシーゾーンに2分間留まり、録画を停止しなかった場合、新規の通知が届きます。

要件

AXIS W401 Body Worn Activation Kitが、機密区域に設置されていること。

この例では、AXIS W401 Body Worn Activation Kitが3秒ごとにワイヤレス信号を送信するように設定します。

1. AXIS Body Worn Managerで、[Camera profiles (カメラプロファイル)]  に移動します。
2. 編集したいカメラプロファイルを開き、[Activation (作動)] へ移動します。
3. [Privacy zone broadcast response (プライバシーゾーン放送応答)] で、[Alert (アラート)] を選択します。
4. [Settings (設定)]  > [Camera (カメラ)] > [Wireless broadcast (ワイヤレスブロードキャスト)] の順に移動します。
5. [Show key (キーを表示)] をクリックします。
6. スーパーアドミンパスフレーズを入力して、[Confirm (確認)] をクリックします。
7. 表示されたキーをコピーします。
8. AXIS W401のWebインターフェースで、[System (システム)] > [Events (イベント)] > [Schedules (スケジュール)] の順に移動して、スケジュールを追加します。
9. スケジュールの名称を入力します (例: Every 3 seconds)。
10. [Type (タイプ)] で、[Pulse (パルス)] を選択します。
11. [Recurrence (繰り返し)] で3とタイプします。
12. [保存] をクリックします。
13. [Rules (ルール)] をクリックし、ルールを追加します。
14. ルールの名称を入力します (例: Privacy zone)。
15. 条件のリストで、[Scheduled and recurring (スケジュールおよび繰り返し)] の項目で [Pulse (パルス)] を選択します。
16. [Pulse (パルス)] で、自身で作成したスケジュールを選択します。
17. アクションのリストで、[Broadcast signal (ブロードキャスト信号)] を選択します。
18. プロトコルのリストから、[Wireless broadcast key (ワイヤレスブロードキャストキー)] を選択します。
19. 装着式システムから取得したキーを、[Wireless broadcast key (ワイヤレスブロードキャストキー)] に貼り付けます。

20. [Message type (メッセージタイプ)] に、3と入力します。
21. [保存] をクリックします。
22. 以下の手順で、ワイヤレスブロードキャストの到達範囲を調整します。
 - AXIS W401のWebインターフェースで、[System (システム)] > [Plain config (plain設定)] の順に移動します。
 - グループのリストから [Wireless (ワイヤレス)] を選択します。
 - [Range (範囲)] で0から30までの数値を設定します。
プライバシーゾーンが狭い場合や壁が薄い場合には、小さい数値を設定します。
 - [保存] をクリックします。

録画またはストリームにロケーションを含める。

注

この機能をサポートするのは、一部のカメラモデルのみです。

Location (ロケーション) 機能を使用すると、カメラの地理的位置が座標で表示されます。

録画時にカメラの位置をメタデータとして保存するだけでなく、オーバーレイで表示することもできます。このオーバーレイには、カメラの動きに合わせて更新された位置が表示されます。コンテンツ送信先が連続更新に対応している場合、撮影シーン内の動きを軌跡として表示することができます。対応していない場合は、録画の開始時と終了時のカメラの位置が保存されます。

AXIS BodyWorn Liveにライブ映像をストリーミングすると、ストリームに位置が含まれ、カメラの動きに合わせて更新されます。AXIS BodyWorn Live (Axis-hostedオプション) の map view (マップ表示) で位置を確認できます。

録画とストリームに地理的位置を含めるには:

1. [Camera profiles (カメラプロファイル)]  に移動します。
2. カメラプロファイルを選択します。
3. 録画に地理的位置情報を含めるカメラモデルを開きます。
4. [Location (位置情報)] をオンにします。

注

- 屋外で使用する場合、位置情報では、衛星 (GNSS) を使用してカメラの位置を取得します。クラウド拡張機能をオンにすると、Assisted GNSS (ephemeris) により測位性能が向上し、最初の衛星位置を取得するまでの時間が短縮されます。
- コンテンツの送信先によっては、位置情報データの表示や使用方法が異なる場合があります。たとえば、録画の検索に使用したり、録画用のマップやブックマークに表示ができます。
- 位置情報は屋外専用です。屋内で使用する場合はオフにすることをお勧めします。
- 位置情報を使用すると、バッテリー駆動時間が短くなります。

録画の継続的に更新される位置をオーバーレイとして含めるには、カメラプロファイルの[Overlay (オーバーレイ)] に移動し、[Position (位置)] をオンにします。

録画へのアクセスを制限する

[Allow access to recordings (録画へのアクセスを許可する)] 設定では、カメラユーザーが AXIS Body Worn Assistant内の録画を表示できるかどうかを指定できます。カメラプロファイルでオン/オフを切り取ることができます。録画へのアクセスをオフにするには:

1. [Camera profiles (カメラプロファイル)]  に移動します。
2. 編集するプロファイルを開きます。

- [Allow access to recordings (録画へのアクセスを許可する)] をオフにします。

スタンバイモードでバッテリーを節約する

重要

プリバッファをスタンバイモードと組み合わせて使用することはできません。

録画していないとき、バッテリーを節約する目的でカメラをスタンバイモードに移行させることができます。設定手順は、次の通りです。

- [Camera profiles (カメラプロファイル)]  に移動します。
- 編集するプロファイルを開きます。
- [Standby mode (スタンバイモード)] をオンにします。

スタンバイモードを使用している時、録画ボタンを押してから録画が開始されるまでに約1秒かかります。

Axisロゴオーバーレイの表示／非表示

デフォルトでは、Axisのロゴが録画にオーバーレイとして含まれます。オーバーレイを非表示または表示するには、**Settings (設定)**  > [Camera (カメラ)] > [Logo in video overlay (ビデオオーバーレイのロゴ)] に移動し、[Show Axis logo in video overlay (ビデオオーバーレイにAxisロゴを表示)] をオフまたはオンにします。

カメラへのタグ割り当て

カスタムタグを作成してカメラに割り当てるすることができます。タグを使用して、カメラの使用状況レポートでカメラをフィルターします。

カスタムタグを作成するには：

- [Settings (設定)]  > [Camera (カメラ)] > [Tags (タグ)] に移動します。
- [Create (作成)] をクリックします。
- タグの名前と説明を入力します。
- [Create (作成)] をクリックします。

カメラにタグを割り当てるには：

- [Cameras (カメラ)] に移動し、 タグを割り当てるカメラをクリックします。
- リストから1つ以上のタグを選択します。

クラウド拡張機能

装着式システムには、すぐに使用可能な標準機能がセットされています。クラウド拡張機能は、クラウドベースの追加機能のセットです。

使用可能なクラウド拡張機能は次のとおりです。

アシストGNSS (エフェメリス) - 場所データのパフォーマンスが向上し、最初の修正を取得するのにかかる時間を短縮できます。

Eメール通知 - この通知により、システムの健全性を監視する時間を短縮することができます。詳細については、電子メール通知の設定, *on page 42*を参照してください。

補助装置ソフトウェアのアップグレード - 最新の装置ソフトウェアバージョンを、コンピューターに手動でダウンロードせずに、インストールできます。また、インストール前に、直接

AXIS Body Worn Managerにアップグレードで追加される新機能が表示されます。新しいバージョンが利用可能になったときに電子メール通知を受信するように選択できます。

注

- クラウド拡張機能を一度オンになると、装着式システムをリセットしない限りオフにすることはできません。
- クラウド拡張機能をオンにするには、システムが以下の表にあるホスト名にアクセスできる必要があります。

クラウド拡張機能をオンにするには:

- [Add-on services (アドオンサービス)] > [Cloud (クラウド)] に移動します。
- [Turn on (オンにする)] をクリックします。
- [Continue (続行)] をクリックして確定します。

以下は、クラウド拡張機能を設定して使用する際に、装着式システムがアクセスできる必要のあるホスト名です。

ドメイン	情報
*.bodyworn.axis.com	装着式システム固有のAPI。
*.bodyworn.axis.cloud	装着式システム固有のAPI。
*.axis.com	共通のAxis API。
axisbws-prod.azure-devices.net	装置とクラウド間のアプリケーション通信。

AXIS Body Worn Live Axis-hostedに必要なホスト名のリストについては、*AXIS Body Worn Live*ユーザー・マニュアルを参照してください。

システムの保護

署名付きビデオ

署名付きビデオでは、各ビデオ フレームに暗号化チェックサムが追加され、Axis装置IDで署名されます。これにより、ビデオを元のカメラまで遡って追跡できるため、ビデオファイルのCoC(管理の連鎖)を証明しなくても、カメラから転送された後の映像が改ざんされていないことを確認することができます。AXIS File Playerを使用してビデオファイルを確認できます(録画の信頼性を確認する, *on page 30*を参照)。

カメラが署名付きビデオに対応しているかどうかを確認するには、axis.comに移動してください。

署名付きビデオをオンにするには:

1. [Settings (設定)]  > [Camera (カメラ)] > [Signed video (署名付きビデオ)] に移動します。
2. [Signed video (署名付きビデオ)] をオンにします。

注

この機能は、コンテンツ送信先でサポートされている場合に利用できます。

録画の信頼性を確認する

注

録画の信頼性を確認するには、ビデオの録画時に署名付きビデオがオンになっている必要があります。署名付きビデオ, *on page 30*を参照してください。

1. 確認する録画をエクスポートします。
2. AXIS File Player (クリックしてダウンロード) を使用して録画を再生します。



は、録画が不正に改変されていないかどうかを示します。

注

メタデータを表示するには、ビデオを右クリックして [Show digital signature (デジタル署名を表示)] を選択します。

証明書

証明書を使用して、ネットワークにあるデバイスを認証することができます。また、HTTPSを使用して、暗号化されたWebブラウジングを有効化することができます。HTTPSを使用して、装着式システムに安全に接続することをお勧めします。HTTPSのみを許可, *on page 31*を参照してください。

装着式システムに安全に接続するには、以下のようにします。

1. 証明書の署名要求を作成する
2. CA (認証局) を使用して、CSR (証明書署名要求) に署名します。
3. 証明書のインストール

証明書の署名要求を作成する

1. [Settings (設定)]  > [Security(セキュリティ)] > [Certificates (証明書)] の順に移動します。
2. [追加] をクリックします。
3. [Create self-signed certificate (自己署名証明書の作成)] を選択し、[Next (次へ)] をクリックします。

4. [Create self-signed certificate (自己署名証明書を作成する)] で、値を入力し、[Create (作成)] をクリックします。
5. 新しい証明書の横にあるコンテキストメニュー  を開きます。
6. [Create signing request (署名要求の作成)] をクリックします。
7. [Create certificate signing request (証明書署名要求の作成)] で、[Create (作成)] をクリックします。
8. [Signing request (署名要求)] ダイアログで、テキスト全体をコピーし、ファイル名が .csr のファイルに貼り付けます。

注

また、既存の [Default (self-signed) (デフォルト (自己署名))] 証明書に対する署名要求を作成することもできます。

証明書のインストール

注

インストールされた証明書は、アップロードされた .crt ファイルから接尾辞を除いた名前を取得します。この名前は一意である必要があります。

1. [Settings (設定)]  > [Security (セキュリティ)] > [Certificates (証明書)] の順に移動します。
2. [追加] をクリックします。
3. [Upload a CA certificate (CA証明書をアップロード)] を選択し、[Next (次へ)] をクリックします。
4. [Select file (ファイルの選択)] をクリックし、<filename>.crt というファイル名の署名された証明書を参照します。
5. [インストール] をクリックします。
6. 証明書の横にあるコンテキストメニュー  を開きます。
7. [Activate (有効化)] をクリックします。

802.1xの設定

1. 装着式システムを、802.1xを使用せずにネットワークに接続します。
2. [Settings (設定)]  > [Security (セキュリティ)] > [IEEE 802.1x] の順に移動します。
3. [Show certificate settings (証明書の設定の表示)] をクリックします。
4.  をクリックして新規証明書を作成するか、既存の証明書をインストールします。
5. [802.1x] で、インストールした証明書を選択します。
6. EAP identity (EAP ID) を入力します。
7. [Use IEEE 802.1x (IEEE 802.1xを使用)] を選択します。
8. [保存] をクリックします。
9. ページに [Connecting… (接続中…)] と表示されます。
10. 802.1xを有効にしたネットワークに装着式システムを接続します。

HTTPSのみを許可

装着式システムに安全に接続するには、HTTPSのみを使用することをお勧めします。

1. [Settings (設定)]  > [Security (セキュリティ)] > [HTTP and HTTPS (HTTP と HTTPS)] の順に移動します。
2. [Allow access through (次によるアクセスを許可)] ドロップダウンメニューで、[HTTPS only (HTTPSのみ)] を選択します。
3. [Set (設定)] をクリックします。

ユーザーを管理する

ユーザを削除

1. [Users (ユーザー)]  に移動します。
2. 削除するユーザーをクリックします。
3. コンテキストメニュー  を開きます。
4. [削除] をクリックします。

重要

コンテンツ送信先からカメラユーザーを削除しないでください。ユーザーの削除には、必ず AXIS Body Worn Managerを使用します。

ユーザーのエクスポート

すべてのカメラユーザーのデータをCSVファイルにエクスポートできます。これは、システムのリセットが必要な変更をシステムに加える必要があるが、すべてのユーザーデータを保持したい場合に便利です。システムをリセットし、すべての変更を行った後、ユーザーのデータを再びシステムにインポートするだけで済みます。ユーザーのインポート, on page 11を参照してください。

カメラユーザーをエクスポートする方法:

- [Users (ユーザー)]  に移動します。
- コンテキストメニュー  を開きます。
- [Export users (ユーザーのエクスポート)] をクリックします。

特定のユーザーの録画を優先的にオフロードする

特定のカメラユーザーに重要な録画があり、できるだけ早くコンテンツ送信先に転送する必要があることがわかっている場合、そのユーザーからのオフロードを優先させることができます。この優先順位は、24時間後に自動的に削除されます。

1. [Users (ユーザー)]  に移動します。
2. 優先するユーザーをクリックします。
3. コンテキストメニュー  を開きます。
4. [Prioritize (優先する)] をクリックします。

システムの監視

ダッシュボード

[Dashboard (ダッシュボード)]  には、装置とシステムの健全性の概要が表示されます。また、注意が必要な問題も強調表示します。何か問題がある場合は、このページから簡単にアクセスして問題を解決することができます。

装置は同時に複数の問題が発生する可能性があります。詳細を確認するには、アイコンの上にカーソルを移動します。

カメラアラート

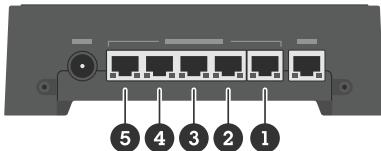
アラート	その意味	対処法
まもなく証明書の有効期限です	カメラがドッキングされていない場合、カメラの証明書は1週間以内に失効します。証明書の有効期限が切れたカメラは、次回ドッキングしたときにセーフモードになります。	カメラをドッキングします。
ドッキング済みですがバッテリーが空です	前回のセッションでバッテリー残量がなくなったため、カメラがシャットダウンしました。	カメラをクリックし、[Battery health (バッテリーの状態)] タブに移動します。バッテリーの状態を把握するため、過去30日間にカメラがシャットダウンした回数と、前回のセッションで使用された時間を確認します。 このアラートをオフにするには、[Settings (設定)]  > [Camera (カメラ)] > [Display battery warning (バッテリー警告を表示)] の順に移動します。
ドッキングの問題	カメラがドッキングベイに正しく接続されていません。	以下のように対処してください。 <ol style="list-style-type: none"> カメラをドッキング解除した後、適切にドッキングします。アラートがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 カメラのコネクターとドッキングベイのポゴピンを清掃します。カメラのユーザーマニュアル (help.axis.com) の「クリーニング」を参照してください。カメラをドッキングしても警告が消えない場合は、以下の手順に進みます。

		<p>3. 他のカメラでこのアラートが表示されない別のドッキングベイに、カメラをドッキングしてください。アラートが消えた場合は、元のドッキングベイが故障しているため、ドッキングステーションを交換する必要があります。アラートがまだ表示される場合は、カメラが故障しているため、カメラを交換する必要があります。</p>
セーフモード中	カメラの証明書が有効でないため、セキュリティ上の理由でカメラがセーフモードになりました。	カメラとシステム間の接続を再確立するには、カメラをクリックし、画面上の手順に従います。デバイスがシステムに戻ることを許可する, on page 49を参照してください。
中間アップグレードが必要	カメラのデバイスソフトウェアが古すぎます。カメラはシステムのデバイスソフトウェアにアップグレードできないため、次のドッキング時に録画データをオフロードできません。	<ol style="list-style-type: none"> [Settings (設定)]  > [Maintenance (メンテナンス)] > [Device software (デバイスソフトウェア)] > [Stored device software version (保存されたデバイスソフトウェアバージョン)] に移動し、カメラと同じメジャーリリースのLTSバージョンをアップロードして保存します。 インストールするバージョンを確認する必要がある場合は、Axisデバイスソフトウェアアップグレードガイドを参照してください。 カメラをドッキングします。 そのカメラが見当たらない場合は、システムから強制的に削除します。手順については、カメラの強制削除, on page 44を参照してください。
動作不良	カメラが故障しています。	カメラを交換してください。
充電できない	カメラをドッキングしても充電されません。	<p>以下のように対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> カメラをドッキング解除した後、適切にドッ

		<p>キングします。アラートがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. カメラのコネクターとドッキングベイのポゴピンを清掃します。カメラのユーザーマニュアル (help.axis.com) の「クリーニング」を参照してください。カメラをドッキングしても警告が消えない場合は、以下の手順に進みます。 3. 他のカメラでこのアラートが表示されない別のドッキングベイに、カメラをドッキングしてください。アラートが消えた場合は、元のドッキングベイが故障しているため、ドッキングステーションを交換する必要があります。アラートがまだ表示される場合は、カメラが故障しているため、カメラを交換する必要があります。
不明なカメラ	<p>AXIS Body Worn Manager Proに接続されていないシステムの場合: カメラが別のシステムに属しています。</p> <p>AXIS Body Worn Manager Proに接続されているシステムの場合: カメラがAXIS Body Worn Manager Proを介して管理されるシステムのグループ外のシステムに属しています。</p>	<p>このシステムでカメラの使用を開始するには、以下の手順に従ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カメラを最初に追加したホームシステムにドッキングしてください。 2. ホームシステムからカメラを削除します。カメラを削除する, <i>on page 44</i>を参照してください。 3. ホームシステムからカメラのドッキングを解除し、新しいシステムにドッキングします。 4. 新しいシステムにカメラを追加します。カメラを追加する, <i>on page 11</i>を参照してください。

	AXIS Body Worn Manager Pro に接続されているシステムの場合: カメラが別のシステムのゲストカメラで、AXIS Body Worn Manager Proで管理されています。カメラの証明書が無効です。	<ol style="list-style-type: none"> 1. カメラを最初に追加したホームシステムにドッキングしてください。 2. ホームシステムでカメラをクリックし、画面上の手順に沿って操作します。デバイスがシステムに戻ることを許可する, <i>on page 49</i>を参照してください。
--	--	---

システムコントローラーのステータス

ステータス	その意味	対処法
録音を転送できません	コンテンツ送信先の日時が装着式システムの日時と異なっています。	コンテンツ送信先の日時が装着式システムの日時と同期していることを確認します。両方に同じNTPサーバーを使用することをお勧めします。
[コンテンツ送信先]への接続に失敗した	コンテンツ送信先にアクセスできません。	<p>以下のように対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンテンツ送信先が起動され、実行中であることを確認します。 • コンテンツ送信先へのネットワーク接続を確認します。 • コンテンツ送信先のユーザーマニュアルで、どのポートを開く必要があるかを確認してください。それらのポートが開いている必要があります。
ポート [x] でドッキングステーションの接続の問題があります	 <p>ポート番号</p> <p>システムコントローラーとドッキングステーション間のリンク速度が遅くなっています。これにより、録画のオフロード時に問題が発生する可能性があります。</p>	<p>以下のように対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドッキングステーションの電源を切り、再投入します。メッセージがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 2. ドッキングステーションとシステムコントローラー間のネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認します。メッセージがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。

		<p>3. ドッキングステーションとシステムコントローラー間のネットワークケーブルを交換します。メッセージが消えた場合は、ケーブルに問題があるため、交換する必要があります。メッセージがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。</p> <p>4. システムコントローラーの同じドッキングステーションポートに、正常に動作するドッキングステーションを接続します。メッセージが消えた場合は、元のドッキングステーションが故障しているため、交換する必要があります。メッセージがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。</p> <p>5. システムコントローラーを再起動します。メッセージがまだ表示される場合は、システムコントローラーが故障しているため、交換する必要があります。</p>
中間アップグレードが必要	拡張システムコントローラーのデバイスソフトウェアが古すぎます。その結果、次回接続時にシステムと通信できなくなります。	<p>1. [Settings (設定)]  > [Maintenance (メンテナンス)] > [Device software (デバイスソフトウェア)] > [Stored device software version (保存されたデバイスソフトウェアバージョン)] に移動し、拡張システムコントローラーにインストールされているのと同じメジャーリリースのLTSバージョンをアップロードして保存します。 インストールするバージョンを確認する必要がある場合は、Axisデバイスソフトウェアアップグレードガイドを参照してください。</p>

		<p>2. システムコントローラーをシステムに接続します。</p> <p>拡張システムコントローラーを今後使用しない場合は、システムから強制的に削除します。手順については、拡張システムコントローラーの強制削除, on page 45を参照してください。</p>
動作不良	システムコントローラーが故障しています。	<p>以下のように対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • システムコントローラーを再起動します。 <p>メッセージがまだ表示される場合は、システムコントローラーを交換してください。</p>
録画転送の問題	録画をコンテンツ送信先に転送しようとすると、問題が発生します。	<p>1. 以下のように対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - コンテンツ送信先へのネットワーク接続を確認します。 - コンテンツ送信先に十分なライセンスがあることを確認します。 - コンテンツ送信先にすべての装着式カメラユーザーが含まれているかを確認します。 - コンテンツ送信先の日時が装着式システムの日時と同期していることを確認します。 <p>2. 上記のいずれかの問題に対処した後、[System controllers (システムコントローラー)]に移動して、[System controllers (システムコントローラー)] > [Retry transfer (転送の再試行)] の順にクリックします。システムコントローラーを再起動しないでください。</p>

		メッセージが引き続き表示される場合は、録画をダウンロードしてください。システムコントローラーから録画を取得, on page 50を参照してください。
録画を転送できませんでした	録画をコンテンツ送信先に転送できませんでした。	録画をダウンロードします。システムコントローラーから録画を取得, on page 50を参照してください。
ストレージがほぼいっぱい	ストレージがほぼいっぱいです。	以下のように対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ コンテンツ送信先が起動され、実行中であることを確認します。 ・ コンテンツ送信先へのネットワーク接続を確認します。 ・ 録画がコンテンツ送信先に正常に転送されることを確認します。 ・ コンテンツ送信先に十分なライセンスがあることを確認します。 ・ コンテンツ送信先の日時が装着式システムの日時と同期していることを確認します。
ストレージが満杯です	ストレージが満杯です。	
使用不可	システムコントローラーが使用できません。	以下のように対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ システムコントローラーがオンになっていることを確認します。 ・ システムコントローラーへのネットワーク接続を確認します。

カメラ使用状況レポートのダウンロード

カメラ使用状況レポートには、割り当てられているカメラを各ユーザーが過去30日間にどのように使用したかに関する情報が表示されます。これには、録画の開始と停止、ドッキングとドッキングの解除、電源のオンとオフ、音声のミュートなどが含まれます。

注

カメラ使用レポートはCSV形式(カンマ区切り)で、エンコーディングはUTF-8です。

カメラ使用状況レポートをダウンロードするには:

1. [Users (ユーザー)]  に移動します。
2. コンテキストメニュー  を開きます。
3. [Camera usage report (カメラ使用状況レポート)] をクリックします。

- [Download (ダウンロード)] をクリックします。

カメラレポートのダウンロード

システム内のカメラに関する情報を提供するレポートには、以下の2種類があります。

カメラステータスレポート - すべてのカメラまたは設定されたフィルターに一致するカメラの現在のステータスが含まれています。このレポートには、例えば、各カメラがドッキングされているシステムコントローラーなどの情報が含まれています。

カメラ接続レポート - AXIS W120カメラすべてのIMEIとICCIDに関する情報が含まれています。

注

これらのレポートはCSV形式(カンマ区切り)で、エンコーディングはUTF-8です。

レポートをダウンロードするには:

- [Cameras (カメラ)]  に移動します。
- コンテキストメニュー  を開きます。
- [Camera status report (カメラステータスレポート)] または[Camera connection report (カメラ接続レポート)] をクリックします。
- [Download (ダウンロード)] をクリックします。

システムコントローラーストレージを監視する

AXIS Body Worn Managerでは、各システムコントローラーによって使用および予約されているストレージの容量を監視することができます。ストレージを監視することで、ファイルの転送に関する潜在的な問題を特定することができます。

使用済みストレージ - システムコントローラーのストレージは、録画がカメラからコンテンツ送信先に転送されるときにバッファとして使用されます。使用されるストレージのレベルが継続的に高い場合は、転送エラーを示している可能性があります。

予約済みストレージ - カメラがドッキングされると、コンテンツをシステムコントローラーにオフロードするために必要なメモリーが予約されます。すべての録画がコンテンツ送信先に転送されると、予約は削除されます。予約済みストレージが残っている場合は、転送エラーが発生している可能性があります。

ストレージ情報を表示するには、[System controllers (システムコントローラー)]  に移動し、目的のシステムコントローラーをクリックします。

カメラがドッキング解除されていた期間の確認

AXIS Body Worn Managerでは、カメラがドッキング解除されていた期間を確認できます。これにより、カメラを紛失したことや装置ソフトウェアアップグレードが必要であることなどがわかります。

カメラがドッキング解除されていた期間を確認するには、[Cameras (カメラ)]  に移動し、目的のカメラをクリックします。

証明書の有効期限が切れたカメラの概要の取得

カメラが8~12週間ドッキングされていない場合、最終的に証明書の有効期限が切れ、カメラはセーフモードに入ります。証明書が有効期限切れになっている場合、カメラが紛失した可能性があります。

証明書の有効期限が切れたカメラの一覧を表示するには、以下の手順に従います。

- [Cameras (カメラ)]  に移動します。

- [Filter (フィルター)] をクリックし、[Undocked (ドッキング解除済み)] を選択します。

[Certificate expired (証明書の有効期限切れ)] アラートのあるカメラが、ドッキング解除されていました期間に基づいて並べ替えられます。

証明書の有効期限が切れたカメラをシステムに戻すには、デバイスがシステムに戻ることを許可する, *on page 49*を参照してください。

別のシステムに属するカメラを検索する

AXIS Body Worn Manager Proを使用して複数の装着式システムを管理する場合、ユーザーはどのシステムにもカメラをドッキングすることができます。カメラが最初に追加されたシステムはホームシステムです。別のシステムにドッキングされているカメラは、そのシステムではゲストカメラとして表示されます。

システム内のすべてのゲストカメラを検索するには、以下の手順に従います。

- [Cameras (カメラ)]  に移動します。
- [Filter (フィルター)] をクリックし、[Guest (ゲスト)] を選択します。

電子メール通知の設定

次のイベントについて電子メールで通知するように装着式システムを設定できます。

- コンテンツ保存先との接続が失われました
- 拡張システムコントローラーとの接続が失われました
- システムコントローラーストレージの残量が少なくなりました
- システムバックアップの同期に失敗しました
- AXIS OSの新しいバージョンが使用可能になりました
- クラウド拡張機能への接続が失われました

システム通知をオンにするには：

- [Add-on services (アドオンサービス) - 電子メールアドレスを入力します。
- [Set (設定)] をクリックします。

通知の受信を停止するには、電子メールアドレスを削除して、[Set (設定)] をクリックします。

注

- 電子メール通知機能には、クラウド拡張機能へのアクセスが必要です。
- 複数の人に電子メール通知を送信するには、メーリングリストを使用します。

システムのメンテナンス

重要

AXIS Body Worn Managerから、システムのリセットやカメラの取り外しなど、すべての装着式システムメンテナンスを必ず起動してください。

パスワードの変更

1. [Settings (設定)]  > [System (システム)] > [Accounts (アカウント)] の順に移動します。
2. 変更するアカウントのコンテキストメニュー  を開きます。
3. [Edit] (編集) をクリックします。
4. 現在のパスワードと新しいパスワードを入力します。現在のパスワードは、rootアカウントを変更する場合にのみ必要です。
5. [保存] をクリックします。

アカウントの追加

AXIS BodyWorn Managerのアカウントを追加するには：

1. [Settings (設定)]  > [System (システム)] > [Accounts (アカウント)] の順に移動します。
2.  [Add account (アカウントの追加)] をクリックします。
3. 権限を選択します。管理者は、すべての設定に対するフルアクセス権を有します。ローカル管理者は、カメラやユーザーの追加・削除、カメラへのユーザーの割り当て、システムログやレポートのエクスポートなどの日常業務を管理できます。閲覧者は設定を変更することはできません。
4. ユーザー名とパスワードを入力します。
5. [保存] をクリックします。

システムレポートのダウンロード

装着式システムからシステムレポートをダウンロードすることができます。Axisのサポートではトラブルシューティングにシステムレポートを使用しています。

1. トップメニューの  をクリックします。
2. [System report (システムレポート)] をクリックします。
3. レポートをダウンロードします。
4. ファイルをAxisサポートに送信します。

注

- システムレポートには、システムにある、またはシステムにドッキングされている、すべてのシステムコントローラーとカメラが含まれます。ドッキングすると、カメラの最新のログが含まれます。
- システムレポートは、ダウンロードした瞬間に生成されるだけでなく、毎日1回自動で生成されます。これは、7日間システムに保存され、その後、新しいものに置き換わります。

カメラを別の装着式システムに移動

別のシステムで、装着式カメラを使用するには、まず、現在のシステムからカメラを削除する必要があります。その後、新しいシステムにカメラを追加することができます。

カメラを別の装着式システムに移動するには:

1. 現在のシステムからカメラを削除します。カメラを削除する, *on page 44*を参照してください。
2. 新しいシステムにカメラを追加するには、カメラを追加するの手順に従ってください。

接続ファイルを変更する

コンテンツ送信先への接続が失われた場合、可能な解決策は、現在の接続ファイルを新しいものに置き換えることです。コンテンツ送信先が新しいIPアドレスを取得したり、コンテンツ送信先で特定の設定が変更されたりすると、接続が失われることがあります。

1. [Settings (設定)]  に移動します。
2. コンテンツ送信先の [Configuration (設定)] で、 をクリックします。
3. 新しい接続ファイルをアップロードします。
4. [保存] をクリックします。

注

別のコンテンツ送信先に切り替える場合は、システムをリセットする必要があります (システムのリセット, *on page 46*を参照)。

システムからハードウェアを削除する

カメラを削除する

注

ドッキングされているカメラと使用中のカメラの両方を削除できます。使用中のカメラを削除するように選択すると、すべてのコンテンツが転送され、ドッキング後にカメラが削除されます。コンテンツの転送が完了すると、カメラは最新のアップロードされた装置ソフトウェアを使用して工場出荷時の設定にリセットされます。

装着式システムからカメラを取り外すには、以下のようにします。

1. [Cameras (カメラ)]  に移動します。
2. 削除するカメラを開きます。
3. コンテキストメニュー  を開き、[Remove (削除)] をクリックします。
4. [削除] をクリックします。

重要

装着式カメラをコンテンツの宛先から削除しないでください。カメラの削除には、必ず AXIS Body Worn Managerを使用してください。

カメラが紛失したか修理できないほど損傷した場合は、カメラの強制削除, *on page 44*を参照してください。

カメラの強制削除

カメラが紛失したか修理できないほど損傷した場合は、装着式システムからカメラを強制削除できます。このオプションは、カメラが [Undocked (ドッキング解除済み)] 状態のときにのみ使用できます。カメラを強制削除するには、スーパーアドミンパスフレーズを使用して許可される、装着式システムで最高のセキュリティレベルにアクセスできる必要があります。カメラを強制削除するには:

- [Cameras (カメラ)]  に移動します。
- 削除するカメラを開きます。

- ・ コンテキストメニュー  を開き、[Remove (削除)] をクリックします。
- ・ [削除] をクリックします。
- ・ スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
- ・ [Force remove (強制削除)] をクリックします。

拡張システムコントローラーを削除

注

- ・ 拡張システムコントローラーを物理的に取り外す前に、AXIS Body Worn Managerで必ずシステムから削除してください。
- ・ 装着式システムからシステムコントローラーを取り外すと、すべてのコンテンツがコンテンツの保存先に転送され、システムコントローラーが工場出荷時の設定にリセットされます。

拡張システムコントローラーを装着式システムから削除するには:

1. [System controllers (システムコントローラー)]  に移動します。
2. 削除するシステムコントローラーをクリックします。
3. コンテキストメニュー  を開き、[Remove (削除)] をクリックします。
4. [削除] をクリックします。

システムコントローラーが紛失したか修理できないほど損傷した場合は、拡張システムコントローラーの強制削除, on page 45を参照してください。

拡張システムコントローラーの強制削除

拡張システムコントローラーが紛失したか修理できないほど損傷した場合は、装着式システムから拡張システムコントローラーを強制削除できます。このオプションは、拡張システムコントローラーが [Unavailable (使用不可)] 状態の場合にのみ使用できます。拡張システムコントローラーを強制削除するには、スーパーアドミンパスフレーズを使用して許可される、装着式システムで最高のセキュリティレベルにアクセスできる必要があります。拡張システムコントローラーを強制削除するには:

- ・ 強制削除する拡張システムコントローラーを削除します (拡張システムコントローラーを削除, on page 45を参照)。拡張システムコントローラーが [Unavailable (使用不可)] 状態の場合、そのコントローラーは装置リストに残りますが、グレー表示されます。
- ・ 強制削除する拡張システムコントローラーを再度開きます。
- ・ コンテキストメニュー  を開き、[Remove (削除)] をクリックします。
- ・ スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
- ・ [Force remove (強制削除)] をクリックします。

システムハードウェアの交換

装着式システム中でカメラとシステムコントローラーを交換することができます。

カメラを交換する

1. 交換するカメラをドッキングします。
2. AXIS Body Worn Managerを開き、カメラのオフロードが停止するまで待ちます。
3. システムからカメラを削除します。カメラを削除するを参照してください。
4. カメラのドッキングを解除します。
5. 新しいカメラをシステムに追加します。カメラを追加するを参照してください。

拡張機能システムコントローラーの交換

システムコントローラーを交換するには、以下の手順で、装着式システムの一部であるシステムコントローラーを交換します。

1. 古いシステムコントローラーを取り外します。拡張システムコントローラーを削除を参照してください。
2. 新しいシステムコントローラーを追加します。システムコントローラーを追加するを参照してください。

システムコントローラーの交換

システムを作成したシステムコントローラーが故障した場合は、システムコントローラーを交換してシステムを復元する必要があります。単一のシステムコントローラーを使用したシステムを復元するを参照してください。

システムまたはハードウェアをリセットする

カメラ、システムコントローラー、または装着式システムをリセットし、工場出荷時の設定に戻すことができます。

カメラのリセット

カメラを工場出荷時の設定にリセットするには、装着式システムから取り外します。カメラを削除するを参照してください。

拡張システムコントローラーのリセット

拡張システムコントローラーを装着式システムから削除することで、工場出荷時の設定にリセットできます。拡張システムコントローラーを削除を参照してください。

AXIS Body Worn Managerから装着式システムにアクセスできない場合は、各拡張システムコントローラーに個別にアクセスしてリセットすることができます。

1. 拡張システムコントローラーにアクセスします。
2. コンテキストメニュー  を開きます。
3. [Reset system controller (システムコントローラーをリセット)] をクリックします。

注

バックアップ拡張システムコントローラーを工場出荷時の設定にリセットすることはできません。

システムのリセット

重要

- 装着式システムをリセットする前に、コンテンツの保存先を絶対に削除またはリセットしないでください。必ず装着式システムを最初にリセットしてください。最初にコンテンツの保存先を削除またはリセットすると、録画がカメラまたはシステムコントローラーに残り、装着式システムをリセットできなくなります。これは、すべての証拠がコンテンツの保存先にアップロードされるようにするセキュリティ機能です。
- AXIS Body Worn Managerでカメラやユーザーを削除する前に、コンテンツの保存先からカメラやユーザーを削除しないでください。

装着式システムすべてを工場出荷時のデフォルト設定にリセットするには:

1. すべてのカメラを取り外します。カメラを削除するを参照してください。
2. 可能であれば、コンテンツ送信先の対応するカメラを無効にします。

3. すべての拡張システムコントローラーを削除します。拡張システムコントローラーを削除を参照してください。
4. [Settings (設定)] > [Maintenance (メンテナンス)] > [System rest (システムのリセット)] に移動し、[Reset system (システムのリセット)] をクリックします。

ペアリングされた機器を削除する

1. [Users (ユーザー)] に移動します。
2. ペアリングを削除するユーザーをクリックします。
3. 削除する装置を特定して、コンテキストメニュー を開きます。
4. [削除] をクリックします。

注

カメラユーザーとAXIS Body Worn Assistant間のペアリングを装着式システムから削除した場合でも、そのペアリングは引き続きAXIS Body Worn Assistantに残ります。AXIS Body Worn Assistantで既存のペアリングを置き換える方法については、既存のペアリングの削除を参照してください。

システムのリストア

まれな状況として、システムを最初に作成したシステムコントローラーが故障した場合は、システムをリストアすることができます。複数のシステムコントローラーを使用したシステムの復元は、単一のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する場合とは異なります。

複数のシステムコントローラー - すべてのユーザー、カメラプロファイル、カメラの割り当て、システム設定を含めて、システムを復元できます。拡張システムコントローラーに保存されたバックアップからシステムをリストアすると、そのコントローラーがAXIS Body Worn Managerにアクセスするシステムコントローラーになります。システムのリストアには、システムを再起動するのと同じくらいの時間がかかります。システムをリストアする方法については、複数のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する, *on page 47*を参照してください。

単一のシステムコントローラー - システムコントローラーを交換して、装着式システムと既存のカメラとの間の接続を再確立することができます。システムを復元するには、最新のシステム復元キーが必要です。システムリストアキーのダウンロードを参照してください。システムをリストアする方法については、単一のシステムコントローラーを使用したシステムを復元するを参照してください。

複数のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

Axisの装着式システムのバックアップとリストア

装着式システムをリストアするためには、先にシステムバックアップを設定しておく必要があります。手順については、システムバックアップを設定する, *on page 23*を参照してください。

装着式システムを復元するには：

1. システムバックアップを含む拡張システムコントローラーにアクセスします (WebブラウザにシステムコントローラーのIPアドレスを入力します)。

2. コンテキストメニュー  を開きます。
3. [Restore system (システムの復元)] をクリックします。
4. スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
5. [Restore (復元)] をクリックします。
6. 既存の拡張システムコントローラーを開き、新規メインシステムコントローラーのIPアドレスに更新します。
7. 装着式システムと既存の拡張システムコントローラー間の接続を再確立します。デバイスがシステムに戻ることを許可する, *on page 49*を参照してください。
8. 装着式システムと既存のカメラ間の接続を再確立します。デバイスがシステムに戻ることを許可する, *on page 49*を参照してください。

重要

システムの復元が完了したら、バックアップを再設定してください。以前のバックアップシステムコントローラーが、AXIS Body Worn Managerにアクセスする場所になりました。また、故障したシステムコントローラーを新しいものと交換する必要があります。

単一のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する

1. 新しいシステムコントローラーをインストールします。
2. 新しいシステムコントローラーにアクセスします。初めてAccess *AXIS Body Worn Manager*にアクセスするを参照してください。
3. [Restore (復元)] をクリックします。
4. 管理者アカウントを作成し、[Next (次へ)] をクリックします。
5. 管理者アカウントの認証情報を使用してログインします。ユーザー名はrootです。
6. 最新の装置ソフトウェアをインストールし、[Next (次へ)] をクリックします。
7. [Select System restore key (システム復元キーの選択)] をクリックし、以前にダウンロードしたシステムの復元キーを見つけて開きます。
8. スーパーアドミンパスフレーズを入力し、[Next (次へ)] をクリックします。
9. システム設定を完了します。
10. デバイスがシステムに戻ることを許可する。

重要

- システムコントローラーが1つしかないシステムを復元することは、装着式システムと既存のカメラとの間の接続を再確立することを意味します。ユーザー、カメラプロファイル、コンテンツの保存先などのシステム設定は復元されません。
- システム復元キーを持っている場合にのみシステムを復元できます。システムに障害が発生した場合、システム復元キーをダウンロードできないことがあります。最初のシステム設定時にシステム復元キーをダウンロードして、安全な場所に保管することをお勧めします。

システムリストアキーのダウンロード

システム復元キーをダウンロードするには、以下の2つの方法があります。

- システム復元キーは、システム設定の際に生成され、ダウンロードされます。
- *AXIS Body Worn Manager*でシステム復元キーをいつでもダウンロードすることができます。

*AXIS Body Worn Manager*からシステムリストアキーをダウンロードするには:

1. [Settings (設定) 

2. [System restore key (システムリストアキー)] をクリックします。
3. システム設定時に作成したスーパーアドミンパスフレーズを入力します。
4. [Download (ダウンロード)] をクリックして、システム復元キーを安全な場所に保存します。

重要

- システム復元キーはパスフレーズで保護されています。
- システム復元キーとスーパーアドミンパスフレーズは、常に安全な方法で保管してください。

デバイスがシステムに戻ることを許可する

セキュリティ上の理由から、8週間ドッキングされていないカメラはセーフモードになります。拡張システムコントローラーも、システムから8週間切り離されている場合、またはメインシステムコントローラーが故障したシステムに属する場合は、セーフモードになります。

セーフモードのデバイスが装着システムに再接続することを許可するには、次の2通りの方法があります。

- デバイスがセーフモードになった後、手動で許可する（デバイスがシステムに再接続することを手動で許可する, *on page 49*を参照）。
- 設定から自動で許可するようにする（カメラのみ）（カメラがシステムに再接続することを自動で許可する, *on page 49*を参照）。

デバイスがシステムに再接続することを許可するためには、スーパーアドミンパスフレーズの使用によって許可される、装着式システムの最高のセキュリティレベルへのアクセスが必要です。

デバイスがシステムに再接続することを手動で許可する

カメラまたは拡張システムコントローラーが装着システムに再接続することを許可するには:

1. [Dashboard (ダッシュボード)]  に移動します。
2. アラートが [In safe mode (セーフモード中)] のデバイスを開きます。
3. セーフモード中のデバイスが複数ある場合は、許可するデバイスを選択します。
4. [Next (次へ)] をクリックします。
5. スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
6. [Allow cameras (カメラを許可)] または[Allow system controllers (システムコントローラーを許可)] をクリックします。

カメラがシステムに再接続することを自動で許可する

カメラがシステムに再接続することを自動で許可するには:

1. [Settings (設定)]  > [Camera (カメラ)] > [Safe mode (セーフモード)] に移動します。
2. [Allow cameras to reconnect automatically (カメラの自動再接続を許可)] をオンにします。
3. スーパーアドミンパスフレーズを入力します。

破損したカメラからの録画の回復

カメラが故障または破損しても、内部ストレージが損傷していないければ、カードリーダーと同じモデルの別のカメラを使用して録画を回復することができます。

重要

- 交換用カメラのSDカードに十分な空き容量があることを確認してください。
- 故障または破損したカメラがAXIS W110である場合、または録画の回復に関するサポートが必要な場合は、Axisサポートにお問い合わせください。

要件：

- 故障または破損したカメラの代わりとなる同じモデルのカメラ。代りとなるカメラがすでにシステムに追加されているカメラである場合は、事前に割り当てを解除して、システムから削除する必要があります。
 - USB microSDカードドリーダー（例：SanDisk® MobileMate® USB 3.0 microSD™カードドリーダー）。
- 故障または破損したカメラを装着式システムから強制的に取り外します。カメラの強制削除, *on page 44*を参照してください。
 - T6ドライバーを使って、故障または破損したカメラを開けます。
 - SDカードホルダーの前にあるゴムストッパーを取り外します。次に、ホルダーを少し前に引いて持ち上げ、故障または破損したカメラからmicroSDカードを慎重に取り外します。
 - 代りのカメラを、装着式システムに接続されているドッキングステーションにドッキングします。
 - microSDカードをカードドリーダーに挿入します。
 - 代りのカメラがドッキングされているシステムコントローラーのUSBコネクターにカードドリーダーを挿入します。
同じシステムコントローラーで一度に回復できるmicroSDカードは1枚のみです。

- [Cameras (カメラ)]  に移動して、[Recover (回復)] をクリックします。
- 故障または破損したカメラのシリアル番号をリストから選択して、[Next (次へ)] をクリックします。
- 代りのカメラを選択して、[Recover (回復)] をクリックします。
- スーパーアドミンパスフレーズを入力して、[Confirm (確認)] をクリックします。

代りのカメラが **Recovering (回復中)** の状態となります。この状態が30分ほど続きます。その後、カメラが再起動し、コンテンツ送信先への録画のアップロードが開始されます。このプロセスが完了すると、カメラにユーザーを割り当てて使用できるようになります。

復元した録画を確認するには、代わりのカメラをクリックして録画のリストを確認します。復元した録画には破損したカメラのシリアル番号が表示されています。

重要

手順を繰り返す必要がある場合は、まずシステムコントローラーからカードドリーダを取り外してください。

システムコントローラーから録画を取得

通常、コンテンツ送信先は、カメラユーザーからの録画や、コンテンツ送信先から削除されたカメラからの録画を受け入れます。しかし、これがサポートされていない場合、AXIS Body Wear Managerではなく、コンテンツ送信先でユーザー やカメラを削除すると、システムコントローラーから録画が転送されない可能性があります。転送できなかった録画を取得するには、次の2つの方法があります。

- コンテンツ送信先がサポートしている場合は、コンテンツ送信先の「拒否されたコンテンツストレージ」という別の領域に録画を転送します。手順については、却下されたコンテンツのストレージに録画を転送する, *on page 51*を参照してください。
- 転送できなかった録画をUSBストレージデバイスにダウンロードします。手順については、録画をUSBストレージデバイスにダウンロードする, *on page 51*を参照してください。

却下されたコンテンツのストレージに録画を転送する

注

却下されたコンテンツのストレージは、一部のコンテンツ送信先でサポートされています。AXIS Camera Station Proはバージョン6.6からこれに対応しています。詳しくは、*AXIS Camera Station Proユーザーマニュアル*をご覧ください。

重要

却下されたコンテンツのストレージに転送された録画は、コンテンツ送信先が決めた別のロケーションに保存され、コンテンツ送信先のタイムラインでは通常通り表示されない可能性があります。

1. [System controllers (システムコントローラー)]  に移動します。
2. 影響を受けたシステムコントローラーを開きます。
3. [Transfer to rejected content storage (却下されたコンテンツのストレージに転送)] をクリックします。

録画をUSBストレージデバイスにダウンロードする

注

- USBストレージデバイスに録画をダウンロードするには、スーパーアドミンパスフレーズを通して許可される、装着式システムで最高のセキュリティレベルにアクセスできる必要があります。
- USBストレージ装置はexFATファイルシステムでフォーマットされている必要があります。exFATパーティションのみが含まれている必要があります、他のパーティションやファイルシステムを含めることはできません。
- USBコネクターは最大500 mAを供給できます。

録画をUSBストレージデバイスにダウンロードするには、以下の手順に従います。

1. [System controllers (システムコントローラー)]  に移動します。
2. 影響を受けたシステムコントローラーを開きます。
3. [Download recordings (録画をダウンロード)] をクリックします。
4. exFATファイルシステムでフォーマットされたUSBストレージ装置を対象のシステムコントローラーに挿入します。
5. スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
6. 録画の暗号化パスフレーズを入力します。
7. [Download (ダウンロード)] をクリックします。

注

ダウンロードした録画を抽出するには、AES-256暗号化アーカイブに対応した7-Zipを使用することをお勧めします。デフォルトのzipアプリケーションは、装着式システムのアーカイブに対応していない可能性があります。

日付と時刻を調整

装着式システムに含まれているすべての装着式カメラは、システムと同じ日付と時刻を受け取ります。デフォルトでは、日付と時刻はDHCPによって提供されるNTPサーバーと同期されます。

重要

- システムの日付と時刻を正確に保つために、NTPサーバーと同期させることをお勧めします。
- 装着式システムの時刻とタイムゾーンは、コンテンツ送信先の時刻とタイムゾーンと常に一致している必要があります。
- 装着式システムに設定されている時刻が正しくない場合、時間差によってGPSが録画に位置情報データを提供できないことがあります。
- 録画を証拠資料として使用する場合、正しいシステム時刻が重要になります。

日付と時刻の設定を変更するには:

- AXIS Body Worn Managerを開きます, *on page 22*
- [Settings (設定)]  > [System (システム)] > [Date and time (日付と時刻)] の順に移動します。

デバイスのソフトウェア

AXIS OSは、Axisエッジ装置のオペレーティングシステムです。これには、AXIS BodyWorn Managerが含まれています。

AXIS OS トラック

装着式システムのさまざまなAXIS OS トラックがサポートされています。これにより、[Active (アクティブ)] トラックの最新機能をすべて利用する場合も、[Long-term support (LTS) (長期サポート (LTS))] トラックの安定性を優先する場合も、システムに最適なトラックを選択することができます。装置ソフトウェアアップグレードの支援を通じて、選択したトラックに新しいバージョンが追加されるたびに通知を受け取ることができます。

注

装置ソフトウェアアップグレードの支援を使用するには、まずクラウド拡張機能をオンにする必要があります。クラウド拡張機能, *on page 28*を参照してください。

AXIS OS トラックを選択するには、[Settings (設定)]  > [Maintenance (メンテナンス)] > [Device software (装置ソフトウェア)] に移動し、[Change track (トラックの変更)] をクリックします。

お使いのシステムに最適なトラックに関する推奨事項については、AXIS OSライフサイクル管理を参照してください。

デバイスソフトウェアアップグレードのパス

AXIS OS 12.8以降、お使いのシステムの現在のバージョンからアップグレードバージョンまでのすべてのLTSバージョンをインストールする必要があります。たとえば、現在インストールされているデバイスソフトウェアのバージョンがAXIS OS 11.5の場合、システムをAXIS OS 12.8にアップグレードする前に、LTSバージョンであるAXIS OS 11.11をインストールする必要があります。詳しくは、AXIS OS Portal: アップグレードパスを参照してください。

注

目的のバージョンをインストールする前に、すべてのカメラと拡張システムコントローラーがアップグレードされていることを確認してください。

装置ソフトウェアのアップグレード

装着式システムは、リリースされた新しい装置ソフトウェアバージョンを検知します。通知がAXIS Body Worn Managerに表示されます。

注

新しい装置ソフトウェアバージョンを自動検知するには、クラウド拡張機能が必要で、システムから*.bodyworn.axis.cloudにアクセスできるようになっている必要があります。

最新の装置ソフトウェアバージョンをインストールするには：

1. [Settings (設定) ] > [Maintenance (メンテナンス)] > Device software (デバイスソフトウェア)] に移動します。
2. [アップグレード] をクリックします。

クラウド拡張機能がない場合、または最新のファームウェアバージョンではなく別の装置ソフトウェアバージョンを指定する場合：

1. [Settings (設定) ] > [Maintenance (メンテナンス)] > Device software (デバイスソフトウェア)] に移動します。
2. [Choose file (ファイルの選択)] をクリックして、コンピューター上の装置ソフトウェアファイルを選択します。
3. [Upload and install (アップロードとインストール)] をクリックします。

装置ソフトウェアのアップグレードは直ちに有効になります。システム内のすべてのシステムコントローラーがアップグレードされます。アップグレードが完了すると、システムは再起動します。使用中のカメラは、次にドッキングしたときにアップグレードされます。

注

- axis.comから装置ソフトウェアをダウンロードすることができます。
- より新しいメジャーバージョンにアップグレードをする場合は、まず現在のメジャーバージョンのLTSをインストールする必要があります。詳細については、デバイスソフトウェアアップグレードのパス, *on page 52*を参照してください。

装置ソフトウェアのダウングレード

注

装着式システムに現在インストールされている装置ソフトウェアを以前のバージョンにダウングレードするには、システムをリセットする必要があります。

装着式システムを以前の装置ソフトウェアバージョンにダウングレードするには、次の手順に従います。

1. システムのリセット, *on page 46*.
2. 新しい装着式システムを作成し、使用するファームウェア装置ソフトウェアバージョンをインストールします。

装置ソフトウェアバージョンレポート

装置ソフトウェアバージョンレポートには、装着式システムに現在属しているすべてのカメラとシステムコントローラーの、現在の装置ソフトウェアバージョンが表示されます。システムの一部でなくなったものも含め、すべての装置の以前のバージョンに関する情報を取得することができます。これにより、システムのトレーサビリティと履歴の概要が得られます。それにより、システム管理者は装置のライフタイム全体にわたって装置のステータスを追跡できます。

デバイスソフトウェアバージョンレポートは、[Settings (設定) ] > [Maintenance (メンテナンス)] > [Device software (装置ソフトウェア)] からダウンロードできます。

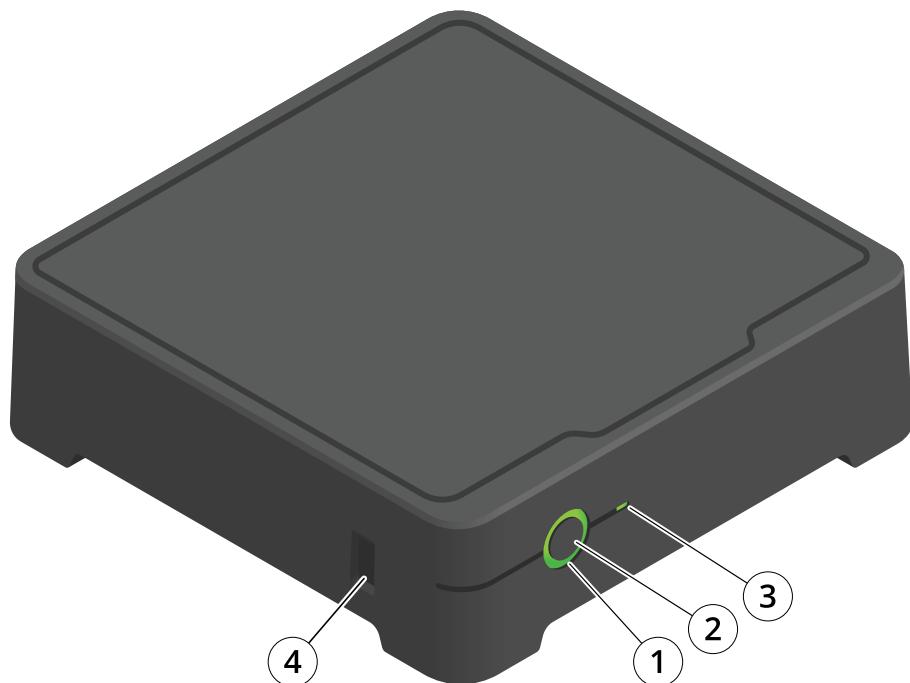
システムコントローラー

システムコントローラーは装着式ソリューションの中心的な統合・管理ポイントです。これは、装着式カメラからコンテンツ送信先まで、証拠が安全な方法で転送されるよう制御します。

注

システムコントローラーはストレージ装置ではありません。システムコントローラーのストレージは、コンテンツがカメラからコンテンツ送信先に転送されるときにバッファとして使用されます。装着式システムは、録画が保存されているコンテンツの保存先に接続されて初めて機能します。

製品概要



番号	名称	説明
1	ステータスLED	緑:システムコントローラーを使用する準備ができました。 黄色:ストレージ警告。ストレージ容量の残りが8%未満。 赤:一般的な警告。コンテンツ送信先との接続に失敗しました。またはストレージエラーが発生しました。
2	電源ボタン	日常的な使用, on page 55を参照してください。
3	ストレージLED	緑:スタンバイ 緑の点滅:ストレージへアクセス中 赤:ストレージエラー
4	USBコネクター	



- 1 電源コネクター
- 2 ドッキングステーションのポート (左から右へ : 5、4、3、2、1)
- 3 ネットワーク コネクター

日常的な使用

目的のアクション	動作	情報
システムコントローラーの電源を入れます	電源ボタンを押します。	ステータスLEDが黄色に変わります。システムコントローラーが使用可能な状態になると、ステータスLEDが緑色に変わります。

システムコントローラーの電源をオフにします	ステータスLEDが黄色に変わるまで電源ボタンを押し続けます。	シャットダウンは、ステータスLEDが黄色に変わると開始します。ステータスLEDがオフになると、システムコントローラーがオフになります。
システムコントローラーをリモートで再起動する	<ol style="list-style-type: none"> [System controllers (システムコントローラー)] に移動します。 再起動するシステムコントローラーを開きます。 コンテキストメニュー を開きます。 [Restart (再起動)] をクリックします。 	システムコントローラーを再起動すると、進行中のすべてのプロセスが停止し、コントローラーには一時的にアクセスできなくなります。

Axis装着式カメラ

装着式カメラの日常的な使用とトラブルシューティングについては、各カメラモデルのユーザーマニュアルを参照してください。

- *AXIS W100 Body Worn Camera*
- *AXIS W101 Body Worn Camera*
- *AXIS W102 Body Worn Camera*
- *AXIS W110 Body Worn Camera*
- *AXIS W120 Body Worn Camera*

カメラに関する情報を検索する

1. [Cameras (カメラ)]  に移動します。
2. 探しているカメラを開きます。
3. [Overview (オーバービュー)] タブには、カメラに関する一般的な情報が表示されます。例:
 - 割り当てられたユーザー : システムが固定カメラ割り当てを使用している場合、カメラに割り当てられたユーザー。
 - シリアル番号 : デバイスのシリアル番号
 - IMEI  : 国際移動体装置識別番号 (International Mobile Equipment Identity number)。
 - SIMカード  : PINに関する情報。SIMカードがロックされている場合は、PINを入力してロックを解除することができます。
 - 状態 : カメラの現在の状態。最後にドッキングまたはドッキング解除されたのはいつか、ドッキングステーションはどのシステムコントローラーで、どのポートに接続されているか。
 - 録画のリストと、各録画が現在カメラ、システムコントローラー、またはコンテンツ送信先のどこにあるか。
4. [Battery health (バッテリーの状態)] のタブに以下のようなカメラのバッテリーに関する情報が表示されます。
 - 最後のドッキング解除時およびドッキング時の充電レベル。
 - 完全充電サイクル数。
 - スマート充電モード  : バッテリーを100%まで充電しないことで、バッテリー寿命を延ばすことができます。カメラは長時間ドッキングされている場合、自動的にスマート充電モードに入ります。スマート充電モードは一時的に中断できます。

ブックマーク

録画内のブックマークは、後で最も関連性の高い情報を見つけやすくなります。ブックマークは、AXIS Body Worn Assistantビデオプレーヤーのタイムラインに表示され、その間をスキップできます。ブックマークは録画のメタデータの一部であるため、コンテンツ送信先でも同様の方法で使用できます。

ブックマークを作成するには、録画中に装着式カメラの録画ボタンを1回だけ押します。

注

この機能は、コンテンツ送信先でサポートされている場合に利用できます。

AXIS Body Worn Assistant

AXIS Body Worn Assistantモバイルアプリには以下が含まれています。

My camera (マイカメラ) - ペアリング済みのカメラユーザーからのライブストリームや録画を見ることができます。録画はカメラがドッキングされるまで利用できます。詳細については、*My camera (マイカメラ), on page 58*を参照してください。

AXIS Body Worn Live - 組織内のすべての装着式カメラからの過去24時間のライブストリームとGPS位置情報を見ることができます。組織内のカメラユーザーがライブストリームを開始すると通知を受け取るように設定できます。詳細については、*AXIS Body Worn Live, on page 61*を参照してください。

AXIS Body Worn Assistantアプリのダウンロード

Androidの場合は、[download (ダウンロード)]をクリックするか、QRコードをスキャンします。



iOSの場合は、[download (ダウンロード)]をクリックするか、QRコードをスキャンします。



My camera (マイカメラ)

My camera (マイカメラ) では以下のことができます。

- モバイルデバイスとペアリングされたカメラユーザーからのライブストリームや録画を見る。
- 録画の位置情報データを表示する。
- コンテンツ送信先でサポートされている場合、録画にカテゴリーやメモを追加する。
- 装着式カメラのバッテリーとストレージの残量を確認する。
- Daily Use Guideなどのユーザーヘルプにアクセスする。
- ブックマークを表示する。

注

- 録画をモバイルデバイスに保存することはできません。
- 画像上のビジュアルウォーターマークは、My camera (マイカメラ) で録画を見る場合のみ表示されます。ビジュアルウォーターマークの目的は、作成元を参照しないで第三者がビデオを拡散することを防止することです。
- カメラをドッキングするまでMy camera (マイカメラ) で録画を見るすることができます。カメラを接続すると、システムコントローラーがコンテンツの配信先に録画を転送し、カメラは空になります。

カメラユーザーとモバイルデバイスをペアリングする

My camera (マイカメラ) の使用を開始するには、カメラユーザーとモバイルデバイスをペアリングする必要があります。AXIS Body Worn ManagerでQR Code® とPINコードを生成し、アプリでスキャンして入力します。これにより、安全なペアリングが行われます。

AXIS Body Worn Managerでは、2つの方法でカメラユーザーとモバイル装置をペアリングできます。

ローカルペアリング - 装着式カメラユーザーとモバイルデバイスにアクセスできます。

リモートペアリング - 装着式カメラユーザーとモバイル装置にアクセスできません。カメラカメラユーザーに電子メールでペアリングリクエストが送信されます。

注

ペアリングを完了するには、ペアリングするカメラをカメラユーザーに割り当てる必要があります。

1. [Users (ユーザー)]  に移動します。
2. モバイル装置とペアリングするユーザーをクリックします。
3. [Paired equipment (ペアリング済みの装置)] で  をクリックしてペアリングを開始します。
4. AXIS Body Worn Assistantオプションで [Pair (ペアリング)] をクリックします。
5. [Local pairing (ローカルペアリング)] または [Remote pairing (リモートペアリング)] を選択して [Next (次へ)] をクリックします。
6. モバイル装置を1人以上のユーザーとすでにペアリングしている場合:
 - 6.1. AXIS Body Worn Assistantで [My camera (マイカメラ)] をタップします。
 - 6.2.  をタップします。
 - 6.3. [Add (追加)] をタップします。
7. AXIS Body Worn Managerと [AXIS Body Worn Assistant] > [My camera (マイカメラ)] に表示される指示に従います。

注

- QRコードとPINコードの有効期限は24時間です。AXIS Body Worn Managerでユーザーをクリックしてコンテキストメニューを開き、[Details (詳細)] をクリックすることで、ペアリングされた機器の詳細が表示されます。
- 装着式カメラの接続を切断した後、5分以内にMy camera (マイカメラ) にPINコードを入力する必要があります。
- モバイル装置を複数のカメラユーザーとペアリングできます。
- モバイルデバイスがカメラユーザーとペアリングされます。つまり、ペアリングしたユーザーにカメラを割り当てるとき、任意のカメラをアプリに接続できます。
- AXIS Body Worn Assistantが8週間カメラに接続されていない場合は、ペアリングの有効期限が切れます。再接続するには、古いペアリングを削除してから、このセクションの手順に従って新しいペアリングを作成します。

既存のペアリングの削除

1. AXIS Body Worn Managerで既存のペアリングを削除します。ペアリングされた機器を削除するを参照してください。
2. [AXIS Body Worn Assistant] > [My camera (マイカメラ)] を開き、 をタップします。

3. ペアリングを削除するユーザーをタップします。
4. [Delete (削除)] をタップします。
5. 既存のペアリングを削除することを確認します。

モバイルデバイスを装着式カメラに接続する

注

モバイルデバイスを装着式カメラに初めて接続する場合は、装着式カメラシステム管理者またはローカル管理者が、モバイルデバイスでカメラのユーザーを [My camera (マイカメラ)] とペアリングする必要があります。

1. モバイルデバイスで [AXIS Body Worn Assistant] > [My camera (マイカメラ)] を開きます。
2. モバイルデバイスが複数のカメラユーザーとペアリングされている場合は、接続するユーザーをリストから選択します。
3. [Connect (接続)] をタップします。
4. 画面の指示に従います。

日常的な使用

目的のアクション	必要なアクション
ライブストリームを見る	[Camera (カメラ)] > [Live (ライブ)] に移動します。
録画を見る	[Camera (カメラ)] > [Recordings (録画)] に移動します。新しい録画を見るには、下方向にスワイプして画面を更新する必要がある場合があります。
録画されたビデオをスローモーションで見る	ビデオの任意の場所を長押しします。
録画したビデオを1フレーム早送りまたは巻き戻しする	1フレーム早送りするには、ビデオ右側をダブルタップします。1フレーム巻き戻すには、ビデオ左側をダブルタップします。
カメラのバッテリーとストレージの残量を確認する	[Camera (カメラ)] > [Details (詳細)] に移動します。
録画にカテゴリーを追加する	カテゴリーを追加する録画を開きます。定義済みのカテゴリーから1つ選択します。詳細については、カテゴリーと注記, on page 61を参照してください。

録画にメモを追加する	メモを追加する録画を開きます。[Notes (メモ)] に情報を入力します。詳細については、カテゴリーと注記, on page 61を参照してください。
別のWi-Fiネットワークに変更する	<ol style="list-style-type: none"> [Camera (カメラ)] > [Details (詳細)] に移動します。 [Wireless network (ワイヤレスネットワーク)] をタップします。 Wi-Fiネットワーク名とパスワードを入力し、[OK] タップします。 <p>注</p> <p>この方法でWi-Fiネットワークを追加すると、そのネットワークはカメラプロファイルで追加されたネットワーク、またはAXIS Body Worn Managerでユーザーに直接追加されたネットワークよりも優先されます。</p>

カテゴリーと注記

カテゴリーと注記には、録画に関する追加情報が含まれています。たとえば、調査員または証拠管理システムが案件の作成やファイルの管理を行う際などにこの情報を役立てることができます。システム管理者が許可している場合、録画がカメラに残っているときにアプリで録画にカテゴリーとメモを追加できます。

注

これらの機能は、コンテンツの保存先でサポートされている場合に利用できます。

AXIS Body Worn Live

AXIS Body Worn AssistantのAXIS Body Worn Liveでは以下のことができます。

- 組織内の装着式カメラからライブストリームや過去24時間のストリームを表示する。
- カメラユーザーにライブストリームを見ていることを知らせる。
- ストリーミング中のカメラユーザーの現在の位置をマップに表示する。
- カメラユーザーがライブストリームを開始するとモバイルデバイスで通知を受け取る。

注

一度に接続できる組織は1つのみです。

AXIS Body Worn Liveの使用を開始する

AXIS Body Worn AssistantでAXIS Body Worn Live Axis-hostedを使用するには:

- AXIS Body Worn Live Axis-hostedのユーザーマニュアルのGet started (はじめに)の手順に従います。
- マップビューにカメラユーザーを表示するには、[Location (ロケーション)] もオンにする必要があります。「マップへのカメラの表示」を参照してください。
- AXIS Body Worn Managerで、[Add-on services (アドオンサービス)]  > [AXIS Body Worn Live] > [Mobile device (モバイルデバイス)] に移動します。
QRコードは、電子メールなどを通じてダウンロードや共有が可能です。
- AXIS Body Worn Assistantで[AXIS Body Worn Live] をタップします。

5. お使いのMyAxisアカウントでサインインします。
6. [Activate AXIS Body Worn Live (AXIS Body Worn Liveを起動する)] をタップします。
7. モバイルデバイスを使用して、AXIS Body Worn ManagerからQRコードをスキャンします。

注

組織のメンバーでない場合は、装着式システムの管理者に追加を依頼してください。

日常的な使用

目的のアクション	必要なアクション
ライブストリームを見る	[Wearers (装着者)] > [Streaming (ストリーミング)] に移動し、表示したいライブストリームのカメラユーザーをタップします。
ライブストリームの確認	カメラユーザーにライブストリームを開いたことを知らせるには、  をクリックします。
最近のストリームを見る	[Wearers (装着者)] > [Inactive (インアクティブ)] に移動し、表示したいライブストリームのカメラユーザーをタップします。最新のストリームが開始します。 古いストリームを見るには、  をタップし、ストリームを選択します。
マップ上にカメラユーザーを表示する	カメラの位置を確認するには、[Map (マップ)] にアクセスします。
マップ上にカメラユーザーの移動を表示するのを停止する	[Map (マップ)] ビューで  をタップします。

AXIS Body Worn TV Dashboard

AXIS BodyWorn TV Dashboardは、Android TVアプリです。これにより、装着式システムのカメラの状態をリアルタイムで表示することができます。カメラユーザーがカメラを受領または返却する部屋のテレビにアプリをインストールすることで、関連性の高い情報をわかりやすく提供することができます。アプリによって表示される内容：

- カメラのドッキングとドッキング解除。
- カメラのバッテリーレベル。
- エラーまたは警告が表示されたカメラ。
- カメラがドッキング解除されていた期間

注

AXIS W100 Body Worn Cameraのバッテリーレベルは表示されません。

アプリをカスタマイズすることで、ユーザー名を表示または非表示にすること、勤務シフトよりも長い時間ドッキング解除されているカメラに警告を表示すること、カメラのドッキングとドッキング解除の状態が変化した場合に強調表示することなどができます。

要件

- アプリにログインできる閲覧者権限が備わっているユーザーアカウント。アカウントを作成するには、アカウントの追加, *on page 43*を参照してください。
- Android TV装置。
- アプリをダウンロードするためのインターネットアクセス。更新時にもインターネットアクセスが必要となります。アプリの実行にはインターネットアクセスは不要です。
- アプリを実行するには、テレビ装置がシステムコントローラーと同じネットワークになければなりません。

AXIS Body Worn TV Dashboardアプリをダウンロードできます。詳しくは、axis.comをご覧ください。

トラブルシューティング

技術的な問題、ヒント、解決策

	問題	原因	解決策
概要	カメラを削除できません。	AXIS Body Worn Managerで削除する前に、拡張システムコントローラーがシステムから物理的に取り外されています。これにより、転送ステータスがシステムで確認されません。	すべてのコンテンツがコンテンツ送信先に転送されたことを確認するには、拡張システムコントローラーをシステムから物理的に取り外す前に、AXIS Body Worn Managerでコントローラーを削除します。その後、カメラを取り外すことができます。
	カメラが壊れているので、システムから強制的に削除する必要があります。	カメラのドッキングを解除し、強制的に削除します。手順については、カメラの強制削除, on page 44 を参照してください。	
	カメラのステータスが [In safe mode (セーフモード中)] です	カメラが8週間、ドッキング解除されている場合、セキュリティ上の理由からカメラはセーフモードになります。	デバイスがシステムに戻ることを許可する、 on page 49 を参照してください。
	カメラはシステムによって検出されず、AXIS Body Worn Managerに表示されません。	ドッキングステーションは、ルーターまたはスイッチ経由でシステムコントローラーに接続されています。	ネットワークでIPv6を有効にします。
ドッキングステーション	ドッキングステーションのLEDが点灯しません。	ドッキングステーションに電力が供給されていません。	電源をドッキングステーションに接続します。ドッキングステーションにはPoEで給電することはできません。
	カメラが充電されません。	カメラが正しくドッキングされていないか、ドッキングステーションに問題があります。	以下のように対処してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. カメラをドッキング解除した後、適切にドッキングします。 2. カメラのコネクターとドッキングベイのポゴピンを掃除します。手順については、カメラの

	問題	原因	解決策
			<p>ユーザー マニュアル (help.axis.com) のク リーニングを 参照してくだ さい。</p> <p>3. 他のカメラを 正常に接続で きる別のドッ キングベイ に、このカメ ラをドッキン グします。カ メラが充電ま たはファイル のオフロード を開始した場 合は、元の ドッキングベ イに障害が あります。した がって、ドッ キングステー ションを交換 する必要があ ります。</p>
システムコントロー ラー	AXIS IP Utilityにシス テムコントローラーが見 つかりません。	古いバージョンの AXIS IP Utilityを使用し ています。	AXIS IP Utilityバージョ ン4.14以降にアップグ レードしてください。
		システムコントロー ラーがオフになってい ます。	電源をシステムコント ローラーに接続しま す。
		システムコントロー ラーがネットワークに 正しく接続されてい ません。	システムコントロー ラーをお使いのネット ワークに接続します。
		メインシステムコント ローラーが交換されて います。	デバイスがシステムに 戻ることを許可する, <i>on page 49</i> を参照して ください。
		拡張システムコント ローラーが8週間以上 システムに接続されな かったため、証明書の 有効期限が切れていま す。	
コンテンツ送信先	コンテンツの保存先に 録画が表示されませ ん。	コンテンツ送信先が利 用できません。	AXIS Body Worn Managerの ダッシュ ボード, <i>on page 34</i> で コンテンツ送信先のス テータスを確認しま す。

	問題	原因	解決策
		同時負荷オフロードは、多くの場合、転送速度に影響します。	AXIS Body Worn Managerで装置を開き、転送ステータスを確認します。録画が転送されるまで待ちます。転送ステータスの履歴は転送の完了後3日間表示されます。
		録画の転送が完了する前に、カメラのドッキングが解除されました。	AXIS Body Worn Managerで装置を開き、転送ステータスを確認します。カメラをドッキングし、すべての録画が転送されるまで待ちます。転送ステータスの履歴は転送の完了後3日間表示されます。
		装着式システムの時間が、コンテンツ送信先の時刻と一致していません。	装着式システムとコンテンツ送信先が一致時間を持っていることを確認してください。
		カメラとドッキングステーションの間の接続に問題があります。カメラが正しくドッキングされていません。ドッキングコネクターが汚れているか、摩耗しています。	すべてのコネクターが清潔であることを確認します。カメラのユーザーマニュアル (help.axis.com) のクリーニングを参照してください。
		ライセンスがありません。	ライセンスを確認し、必要に応じて追加のライセンスを購入してください。
	録画の解像度が正しくありません。	AXIS Body Worn Managerの画像解像度の設定が間違っています。	AXIS Body Worn Managerのカメラプロファイルに移動し、正しい画像解像度を設定します。
	録画が削除されました。	コンテンツ送信先のリテンション時間が短くなっています。例:コンテンツの保存場所のリテンション時間が7日間で、カメラが接続された時点での8日前に録画されたビデオがある場合は、コンテンツの保存先に転送された時点で録画は削除されます。	コンテンツが保存されている場所のリテンション時間を、より大きな値に変更します。

	問題	原因	解決策
	録画はカメラからシステムコントローラーに転送されますが、システムコントローラーからコンテンツへの保存は行われません。	カメラがコンテンツの宛先から削除されています。	カメラが割り当てられているユーザーの名前を変更し、システムコントローラーを再起動します。
		通常、コンテンツ送信先は、カメラユーザーからの録画や、コンテンツ送信先から削除されたカメラからの録画を受け入れます。しかし、これがサポートされていない場合、AXIS Body Worn Managerではなく、コンテンツ送信先でユーザーやカメラを削除すると、システムコントローラーから録画が転送されない可能性があります。	システムコントローラーから録画を取得, <i>on page 50</i> を参照してください。
		装着式システムの時間が、コンテンツ送信先の時刻と一致していません。	装着式システムとコンテンツ送信先が一致時間を持っていることを確認してください。
		カメラとドッキングステーションの間の接続が悪いため、カメラからシステムコントローラーに録画をオフロードするのに時間がかかりすぎます。カメラが正しくドッキングされていません。ドッキングコネクターが汚れているか、摩耗しています。ドッキングベイのポゴピンが汚れているか、磨耗しています。	すべてのコネクターが清潔であることを確認します。カメラのユーザーマニュアル (help.axis.com) のクリーニングを参照してください。
	装着式システムとコンテンツ送信先との接続が失われています。	コンテンツ送信先のIPアドレスなど特定の設定が変更されました。	接続ファイルを変更する, <i>on page 44</i>
AXIS Body Worn Assistant	ペアリングを完了できない。	装着式カメラとモバイル装置の間のワイヤレス範囲には制限があります。	装着式カメラとモバイル装置の間の距離を短く取ってください。
	装着式カメラに接続できません。		
	[Live view (ライブビュー)] を使用できません		
	ビジュアルウォーターマークに完全なユーザーID	ビジュアルウォーターマークにはユーザーID	ユーザーIDが12文字より長い場合は、識別しやすい部分を先頭に含

	問題	原因	解決策
	ユーザーIDが表示されない。	最初の12文字のみが表示されます。	めることをお勧めします。
	装着式カメラに接続できません。	ペアリングの有効期限が切れているか、カメラが装着式システムから削除されています。	システム管理者またはローカル管理者に問い合わせて、新しくペアリングしてもらってください。必要な情報を受け取ったら、アプリを開いて、既存のペアリングの削除, on page 59の手順に従います。
RFIDリーダー	リーダーのLEDがシステムコントローラーに接続しても緑色に変わりません。	装着式システムでサポートされていないRFIDリーダーを使用しています。	External RFID Card Reader 125kHz + 13.56MHz with NFC (USB)を使用してください。
	ユーザーがリーダーのRFIDタグをタップした場合(自己割り当てを使用している場合)、そのユーザーにはカメラは割り当てられません。	<p>さまざまな理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> このユーザーはすでにドッキングされていないカメラに割り当てられています。 現在、使用の準備が整っているカメラがありません。十分なストレージとバッテリーがあり、残りのシステムと同じAXIS OSバージョンを搭載している場合、カメラは使用する準備ができます。 このRFIDタグがシステムに登録されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> 割り当て済みのカメラをドッキングしてください。 カメラの使用準備が整うまで待ちます。 RFIDタグをシステムに登録します。
ビデオ	テキストオーバーレイに位置情報データがない。	<p>位置情報データがオフになっています。</p> <p>録画の開始時にGPS信号がありません。</p>	<p>カメラプロファイルで位置情報データをオンにします。</p> <p>-</p>
	テキストオーバーレイにユーザーIDがない。	カメラユーザーにユーザーIDがありません。	カメラユーザーにユーザーIDを追加します。

	問題	原因	解決策
	プリバッファビデオが完了していません。プリバッファ時間が、AXIS Body Worn Managerで設定された時間より短くなっています。	カメラがオンになった直後、または前回の録画が終了した直後に録画を開始します。 前回の録画が終了した直後に録画を開始しました。	-
		AXIS W100およびAXIS W101の場合、動きが激しい、または低光量の非常に複雑な撮影シーンで最大解像度1080pを使用すると、プリバッファメモリーがいっぱいになる可能性があります。	
	画像がかすんで見えます。	レンズが汚れています。	レンズを清掃します。カメラのユーザーマニュアル(help.axis.com)のクリーニングを参照してください。
		保護フィルムがレンズウインドウに残っています。	保護フィルムをはがしてください。
	録画に音声がありません。	カメラプロファイルで音声がオフになっています。	AXIS Body Worn Managerのカメラプロファイルで音声がオンになっていることを確認してください。
	場所データを録画していません。	カメラの起動後に最初のGPS位置を受信するのにかかる時間は屋外環境によって異なります。たとえば、高い建物や大気の湿度などによって、最初のGPS位置を取得するのに要する時間が長くなる場合があります。	-
		カメラプロファイルで場所データがオフになっています。	カメラプロファイルに移動し、場所データをオンにしてください。カメラプロファイルの設定, <i>on page 14</i> を参照してください。
	装着式システムの時刻が間違っています。	正しいシステム時刻を設定してください。日付と時刻を調整, <i>on page 51</i> を参照してください。	

	問題	原因	解決策
ホルスター センサー	ホルスターに装着していない場合に録画が開始されない。	ホルスター センサーがカメラに接続されていません。	カメラをホルスター センサーに接続する場合は、カメラを装着解除してから10分以内に、ホルスター センサーがカメラの範囲内にある必要があります。通常の状況で、範囲は5~10 m (16~33 フィート) です。
	ホルスター センサーがキャリブレーションされていません。	ホルスター センサーがキャリブレーションします。詳細については、Yardarmサポートページをご覧ください。	
	ホルスター センサーがカメラとのペアリングまたは接続を行わない。	Holster Aware Setup モバイルアプリケーションがホルスター センサーに接続されています。	Holster Aware Setup モバイルアプリケーションを閉じて、ペアリングプロセスを再開します。

一般的なトラブルシューティングの手順

装着式システムで問題が発生している原因がわからない場合は、以下のいずれかの対策を実行することができます。

カメラ

1. 装着式カメラを再起動します。
 - カメラがドッキングされている場合は、カメラのドッキングを解除し、もう一度ドッキングします。
 - カメラのドッキングが解除されている場合は、電源ボタンを使用して電源を切り、再度電源を入れます。
2. 最新の装置ソフトウェアバージョンを使用して、装着式カメラをアップグレードします。装置ソフトウェアのアップグレードを参照してください。
3. カメラをドッキングし、AXIS Body Managerを通してシステムから削除します。これでカメラは工場出荷時の設定に戻ります。もう一度カメラをシステムに追加します。カメラのリセットを参照してください。

システムコントローラー

1. システムコントローラーを再起動します。システムコントローラーを参照してください。再起動中は、システムコントローラストレージ上のログと録画はそのまま残ります。
2. 最新の装置ソフトウェアバージョンを使用して、システムコントローラーをアップグレードします。装置ソフトウェアのアップグレードを参照してください。
3. 以下の方法のいずれかを使用して、拡張システムコントローラーを工場出荷時の設定にリセットします(これは、装着式システムが最初に作成されたシステムコントローラーには適用されません)。
 - 拡張システムコントローラーのリセットは、AXIS Body Worn Managerから行うことをお勧めします。拡張システムコントローラーのリセットを参照してください。
 - 上記の方法が不可能な場合は、拡張システムコントローラーにアクセスし、[Reset system controller (システムコントローラーのリセット)]をクリックします。

4. 装着式システムを工場出荷時の設定にリセットします。システムのリセットを参照してください。

発生する可能性のある問題を特定する方法の詳細については、システムコントローラーストレー
ジを監視する, *on page 41*および カメラがドッキング解除されていた期間の確認, *on page 41*も参
照してください。

さらに支援が必要ですか?

サポートに問い合わせる

さらにサポートが必要な場合は、axis.com/supportにアクセスしてください。

Axisとのデータの共有

当社では、製品がどのように使用され、動作しているかに関する匿名データを収集しています。
これにより、製品とユーザー体験の改善が可能になります。Axisが個人情報を収集することはありません。詳細については、*Privacy Policy* (プライバシーポリシー)をご覧ください。

プライバシー設定を変更するには、[Settings (設定)]  > [System (システム)] > [Privacy (プラ
イバシー)] の順に移動します。

T10135878_ja

2025-12 (M42.3)

© 2020 – 2025 Axis Communications AB